

一般演題プログラム

(一般演題) 口演

※本号 (()) 内) のページ数を掲載しております。

(一般演題) 口演		プログラム／抄録		
11月30日(月)	基礎 : 分子疫学・構造.....	8:30~ 9:30	P.37	P.175
	アクセサリー遺伝子.....	9:30~10:30	P.37	P.178
	免疫・動物モデル.....	10:30~11:30	P.38	P.181
	薬剤耐性・新薬開発1.....	11:30~12:00	P.39	P.184
	薬剤耐性・新薬開発2.....	16:00~16:40	P.40	P.185
	薬剤耐性・新薬開発3.....	16:40~17:20	P.40	P.187
	臨床 : 抗HIV療法1.....	8:30~ 9:30	P.41	P.189
	抗HIV療法2.....	9:30~10:30	P.41	P.192
	生活習慣1.....	10:30~11:20	P.42	P.195
	日和見感染1.....	11:20~12:00	P.43	P.198
	看護1.....	16:00~16:40	P.44	P.200
	看護2.....	16:40~17:20	P.44	P.202
	社会 : 政策1.....	8:30~ 9:20	P.45	P.204
	カウンセリング1.....	9:20~10:10	P.45	P.206
	MSM1.....	10:10~11:00	P.46	P.209
	薬物依存.....	11:00~11:30	P.47	P.211
	疫学.....	11:30~12:00	P.47	P.213
	陽性者支援.....	16:00~17:20	P.48	P.214
	要望演題 : 創薬1.....	8:30~ 9:20	P.49	P.218
	創薬2.....	9:20~10:00	P.50	P.221
	国際1 アフリカ.....	10:00~10:40	P.51	P.223
	国際2 ベトナム.....	10:40~11:10	P.52	P.225
	国際3 モンゴル.....	11:10~12:00	P.52	P.226
	臨床 : 一般症例報告.....	8:30~ 9:30	P.53	P.229
	副作用.....	9:30~10:20	P.54	P.232
	服薬アドヒアランス.....	10:20~11:10	P.55	P.234
	臨床薬理.....	11:10~12:00	P.55	P.237
	その他1.....	16:00~16:40	P.56	P.239
	その他2.....	16:40~17:20	P.56	P.241
12月1日(火)	基礎 : 複製.....	8:40~ 9:30	P.57	P.244
	宿主因子.....	9:30~10:20	P.57	P.246
	臨床 : STI・STD.....	10:20~11:20	P.58	P.249
	薬剤耐性.....	11:20~12:00	P.59	P.252
	肝炎合併.....	14:40~15:40	P.60	P.254
	抗HIV療法3.....	8:40~ 9:40	P.61	P.257
	抗HIV療法4.....	9:40~10:40	P.61	P.260
	生活習慣2.....	10:40~11:30	P.62	P.263
	歯科.....	11:30~12:00	P.63	P.265
	悪性腫瘍1.....	14:40~15:10	P.63	P.267
	悪性腫瘍2.....	15:20~16:10	P.64	P.269
	社会 : 政策2.....	8:40~ 9:30	P.64	P.271
	カウンセリング2.....	9:30~10:20	P.65	P.274
	MSM2.....	10:20~11:10	P.66	P.276
	ソーシャルワーク.....	11:10~12:00	P.66	P.279
	滞在外国人.....	14:40~15:20	P.67	P.281
	感染予防.....	15:20~16:10	P.67	P.283
	要望演題 : 薬害・血友病.....	8:40~ 9:30	P.68	P.286
	臨床 : 母子感染1.....	9:30~10:10	P.69	P.288
	母子感染2.....	10:10~10:50	P.69	P.290
	看護3.....	10:50~11:30	P.70	P.292
	看護4.....	11:30~12:00	P.70	P.294
	日和見感染2.....	14:40~15:30	P.71	P.296
	日和見感染3.....	15:30~16:10	P.71	P.298
	要望演題 : 症例報告.....	8:40~ 9:40	P.72	P.300
	HAND1.....	9:40~10:20	P.72	P.303
	HAND2.....	10:20~11:00	P.73	P.305
	検査・相談体制.....	11:00~12:00	P.73	P.307

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月） 8:30～9:30

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F天空ノース）

O1 基礎：分子疫学・構造

座長 横山 勝

（国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター）

椎野禎一郎

（国立感染症研究所感染症疫学センター）

O1-001 国内感染者集団の大規模塩基配列解析に見る MSM 伝播ネットワークの感染拡大パターン

椎野禎一郎¹⁾、蜂谷敦子²⁾、湯永博之³⁾、
吉田 繁⁴⁾、石ヶ坪良明⁵⁾、近藤真規子⁶⁾、
貞升健志⁷⁾、横幕能行²⁾、古賀道子⁸⁾、
中谷安宏⁹⁾、田邊嘉也¹⁰⁾、渡邊 大¹¹⁾、
森 治代¹²⁾、南 留美¹³⁾、健山正男¹⁴⁾、
杉浦 瓦¹⁵⁾、吉村和久¹⁾

- 1) 国立感染症研究所感染症疫学センター
- 2) 名古屋医療センター臨床研究センター
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 4) 北海道大学
- 5) 横浜市立大学
- 6) 神奈川県衛生研究所
- 7) 東京都健康安全研究センター
- 8) 東京大学医科学研究所
- 9) 石川県立中央病院
- 10) 新潟大学医歯学総合病院
- 11) 大阪医療センター
- 12) 大阪府立公衆衛生研究所
- 13) 九州医療センター
- 14) 琉球大学
- 15) グラクソ・スミスクライン

O1-002 $p6^{gap}$ および pol/vif 遺伝子に特徴的変異を持つ新型変異 HIV-1 の流行状況

森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、川畠拓也¹⁾、
駒野 淳²⁾

- 1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
- 2) 名古屋医療センター

O1-003 東アジア地域における組換え型流行株 (CRF) の多発的新生：MSM 間の流行拡大のインパクト

武部 豊^{1,2,3,4)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 中国医科大学・エイズ研究センター
- 3) 中国CDC・国立AIDS/STD予防制圧センター
- 4) マラヤ大学医学部エイズ研究核拠点 (Center of Excellence for Research in AIDS, CERiA)

O1-004 HIV-1 感染急性期における病勢特異的な血中バイオマーカーの探索

重見 麗¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、松田昌和¹⁾、
今村淳治¹⁾、渡邊綱正^{1,2)}、健山正男³⁾、
今村顕史⁴⁾、柳澤邦雄⁵⁾、矢野邦夫⁶⁾、
藤井輝久⁷⁾、上田敦久⁸⁾、横幕能行¹⁾、
杉浦 瓦^{1,9)}、岩谷靖雅^{1,10)}

- 1) 名古屋医療センター
- 2) 聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科
- 3) 琉球大学大学院医学研究科
- 4) 東京都立駒込病院
- 5) 群馬大学医学部附属病院
- 6) 浜松医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 横浜市立大学付属病院
- 9) グラクソ・スミスクライン
- 10) 名古屋大学大学院医学系研究科

O1-005 X 線結晶構造解析による HIV-1 Vpr の importin- α への結合機構の解析

宮武秀行¹⁾、三城 明²⁾、村上知行³⁾、
村上裕信³⁾、松田 剛³⁾、萩原恭二³⁾、
横山 勝⁴⁾、佐藤裕徳⁴⁾、宮本洋一⁵⁾、
堂前 直⁶⁾、間 陽子³⁾

- 1) 理化学研究所伊藤ナノ医工学研究室
- 2) (株) プロテインウエーブ
- 3) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット
- 4) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 5) 医薬基盤・健康・栄養研究所
- 6) 理化学研究所環境資源研究センター技術基盤部門生命分子解析ユニット

O1-006 抗体中和抵抗性 gp120 構造を維持する Glycan shield の分子メカニズム

横山 勝、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

■日時：11月30日（月） 9:30～10:30

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F天空ノース）

O2 基礎：アクセサリー遺伝子

座長 岩谷靖雅

（名古屋医療センター臨床研究センター）

野間口雅子

（徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野）

O2-007 HIV-1 Nef によるウイルスレセプター発現抑制と重複感染の制御

豊田真子¹⁾、前田洋助²⁾、上野貴将^{1,3)}

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 熊本大学生命科学研究部
- 3) 熊本大学国際先端医学研究機構

(一般演題) 口演

O2-008 APOBEC3G のアセチル化修飾と機能調節

福田寛文¹⁾、松井佑亮¹⁾、白川康太郎¹⁾、
和田典也¹⁾、宮川 敬²⁾、梁 明秀²⁾、
高折晃史¹⁾

1) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科
2) 横浜市立大学医学部微生物学

O2-009 Vif の誘導する細胞周期 G2 停止機構の探求

永田佳代子、新堂啓祐、松井佑亮、
白川康太郎、小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科

O2-010 SAMHD1 分解における HIV-2 Vpx C 末端ポリプロリンモチーフの役割

藤田美歌子¹⁾、Halil Ibrahim Ciftci²⁾、
藤野悠那²⁾、古賀涼子²⁾、山本充奈美²⁾、
大塚雅巳²⁾

1) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター
2) 熊本大学大学院生命科学研究所生体機能分子合成学分野

O2-011 A new mechanism of HIV-1 Vpr to counteract the effects of TSG101 overexpression on Gag degradation and virus production impair

Nopporn Chutiwittonchai¹⁾、
武田英里²⁾、塩田達雄²⁾、間 陽子¹⁾

1) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット
2) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

O2-012 HIV-1 Vpr を標的とした新規抗 HIV 治療薬の探索

佐藤洋隆¹⁾、安倍昌子²⁾、大貫哲男²⁾、
黒田和道³⁾、長澤洋介⁴⁾、武井正美⁴⁾、
山本樹生⁵⁾、吉田 稔²⁾、間 陽子¹⁾

1) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット
2) 理化学研究所創薬シード化合物探索基盤ユニット
3) 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野
4) 日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野
5) 日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野

■日時：11月30日（月） 10:30～11:30

■会場：第1会場（東京ドームホテル

B1F天空ノース）

03 基礎：免疫・動物モデル

座長 桑田岳夫

（熊本大学エイズ学研究センター）

山本拓也

（医薬基盤・健康・栄養研究所）

O3-013 新型変異 HIV のウイルス学的解析

藤野真之¹⁾、引地優太^{1,2)}、森 治代³⁾、
小島洋子³⁾、川畠拓也³⁾、侯野哲朗^{1,2)}、
駒野 淳⁴⁾、村上 努¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 東京大学医科学研究所
3) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
4) 名古屋医療センター

O3-014 CD163 陽性細胞は高病原性 SHIV 感染サルの治療下におけるウイルス RNA 陽性細胞である

渡部祐司^{1,2)}、岩見真吾³⁾、松浦嘉奈子¹⁾、
森ひろみ¹⁾、日紫喜隆行¹⁾、三浦智行¹⁾、
明里宏文²⁾、五十嵐樹彦¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域
2) 京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター
3) 九州大学理学研究院生物科学部門数理生物学教室

O3-015 ベトナム人 HIV-1 感染者に見られる HIV-1 感染制御に関与した HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞

田村美子¹⁾、村越勇人¹⁾、丸山理恵¹⁾、
Hoai Nguyen Dung²⁾、
Van Giang Tran²⁾、赤星智寛¹⁾、
久世 望¹⁾、近田貴敬¹⁾、阪井恵子¹⁾、
小柳 円¹⁾、酒井幸子¹⁾、岡 慎一³⁾、
Van Nguyen Kinh²⁾、滝口雅文^{1,4)}

1) 熊本大学エイズ学研究センター滝口プロジェクト研究室
2) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4) International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

(一般演題) 口演

O3-016 ベトナム人慢性 HIV-1 感染者における HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞の網羅的解析

村越勇人¹⁾、田村美子¹⁾、丸山理恵¹⁾、
Dung Nguyen Hoai²⁾、
Giang Tran Van¹⁾、赤星智寛¹⁾、
久世 望¹⁾、近田貴敬¹⁾、阪井恵子¹⁾、
小柳 円¹⁾、酒井幸子¹⁾、岡 慎一³⁾、
Kinh Nguyen Van²⁾、滝口雅文^{1,4)}

1) 熊本大学エイズ学研究センター滝口プロジェクト研究室
2) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4) International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

O3-017 Effect of gp41 mutations on the sensitivity to neutralizing antibodies against HIV-1

Muntasir Alam¹⁾、Takeo Kuwata¹⁾、
Kristel Ramirez¹⁾、Yasuhiro Maruta¹⁾、
Kazuki Tanaka¹⁾、Kazuuya Shimura²⁾、
Shinya Oishi³⁾、Nobutaka Fujii³⁾、
Masao Matsuoka²⁾、
Shuzo Matsushita¹⁾

1) Matsushita Project Laboratory, Center for AIDS Research, Kumamoto University, Japan
2) Laboratory of Virus Control, Institute for Virus Research, Kyoto University, Japan
3) Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University, Japan

O3-018 ファージ・ライブラリーを用いた抗 V3 単クローニング抗体のエピトープ解析

平田 泉、桑田岳夫、丸田泰広、
田中和樹、Alam Muntasir、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月30日（月） 11:30～12:00

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F天空ノース）

04 基礎：薬剤耐性・新薬開発 1

座長 蜂谷敦子

（名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部）

原田恵嘉

（国立感染症研究所エイズ研究センター）

O4-019 HIV-1 遺伝子産物ペプチドを基とするインテグラーゼ阻害剤の構造活性相関研究

宮木大輔¹⁾、水口貴章¹⁾、村上 努²⁾、
野村 渉¹⁾、玉村啓和¹⁾

1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O4-020 ラルテグラビル耐性症例における末梢血中 HIV-1 の遺伝子変異動態に関する解析

松田昌和¹⁾、大出裕高¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、
横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

1) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

O4-021 ドルテグラビル、リルピビリン、エルビテグラビルとラミブジン間での2剤の組合せによる in vitro 耐性分離試験結果の比較

吉永智一¹⁾、三木 茂¹⁾、関 貴弘¹⁾、
藤原民雄²⁾

1) 塩野義製薬株式会社コア疾患創薬研究所
2) 塩野義製薬株式会社グローバル医薬開発本部

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月） 16:00～16:40

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F 天空ノース）

05 基礎：薬剤耐性・新薬開発2

座長 岡本実佳

（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター）

三隅将吾

（熊本大学大学院医学薬学研究部環境分子保健学分野）

O5-022 新規 CD4 ミミックの創製と薬物動態解析

石田有佑¹⁾、水口貴章¹⁾、原田恵嘉²⁾、
三浦智行³⁾、小谷みさと¹⁾、山田裕子^{1,4)}、
苛原 優¹⁾、野村 渉¹⁾、松下修三⁵⁾、
吉村和久²⁾、玉村啓和¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 3) 京都大学・ウイルス研究所
- 4) 慶應大学病院・薬剤部
- 5) 熊本大学・エイズ学研究センター

O5-023 HIV-外被タンパク質 gp41 の断片ペプチド C34 二量体を基にした膜融合阻害剤の創製

本田柚子奈¹⁾、野村 渉¹⁾、藤野真之²⁾、
村上 努²⁾、玉村啓和¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O5-024 CXCR4 阻害剤耐性変異が中和抗体感受性に及ぼす影響の解析

引地優太^{1,2)}、横山 勝³⁾、竹村太地郎⁴⁾、
藤野真之¹⁾、熊倉 成⁵⁾、山本直樹⁶⁾、
佐藤裕徳³⁾、俣野哲朗^{1,2)}、村上 努¹⁾

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所
- 3) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 4) 長崎大学熱帯医学研究所
- 5) 株式会社クレハ
- 6) 国立シンガポール大学医学部

O5-025 CD4 類似低分子化合物誘導体（CD4 MCs）の耐性機序解析

原田恵嘉¹⁾、横山 勝²⁾、佐藤裕徳²⁾、
松下修三³⁾、俣野哲朗^{1,3)}、玉村啓和⁴⁾、
吉村和久^{1,3)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 3) 熊本大学エイズ学研究センター
- 4) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所生体機能分子研究部門

■日時：11月30日（月） 16:40～17:20

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F 天空ノース）

06 基礎：薬剤耐性・新薬開発3

座長 天野将之

（熊本大学医学部附属病院血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部）

土屋亮人

（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

O6-026 CDK9 阻害剤 FIT-039 の潜伏感染細胞における選択性 HIV-1 複製阻害効果

岡本実佳¹⁾、日高朱美¹⁾、外山政明¹⁾、
山本 誠²⁾、萩原正敏²⁾、馬場昌範¹⁾

- 1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター
- 2) 京都大学大学院医学研究科形態形成機構学講座

O6-027 HIV-1 カプシドタンパク質由来ペプチドライブラリーの構築と阻害剤の創出

谷田部夏香¹⁾、松本大地¹⁾、橋本知恵¹⁾、
藤野真之²⁾、水口貴章¹⁾、大橋南美¹⁾、
野村 渉¹⁾、村上 努²⁾、玉村啓和¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター

O6-028 阻害剤を利用した HIV プロテアーゼ活性の検出

日高興士¹⁾、木曾良明²⁾、津田裕子¹⁾

- 1) 神戸学院大学薬学部
- 2) 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部

O6-029 新規 HIV-1 プロテアーゼ阻害剤 KU-241 の同定と抗 HIV 活性の検討

服部真一朗¹⁾、青木 学^{2,3,4)}、鍬田伸好¹⁾、
青木宏美²⁾、林 宏典¹⁾、
Arun K. Ghosh⁵⁾、前田賢次¹⁾、
満屋裕明^{1,2,3)}

- 1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部
- 2) National Cancer Institute National Institute of Health
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部血液内科学・感染免疫診療部
- 4) 熊本保健科学大学医学検査学科
- 5) Department of Chemistry and Medicinal Chemistry Purdue University

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月） 8:30～9:30

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

07 臨床：抗HIV療法1

座長 立川夏夫

（横浜市立市民病院感染症内科）

菊地 正

（東京大学医学研究所附属病院感染免疫内科）

O7-030 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—抗HIV薬の薬剤変更状況調査
(2015年)

小島賢一¹⁾、日笠 聰²⁾、桑原 健³⁾、
山元泰之⁴⁾

- 1) 萩窓病院血液科
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 国立循環器病研究センター薬剤部
- 4) 東京医科大学病院臨床検査医学科

O7-031 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗HIV薬処方動向調査
(2015年)

日笠 聰¹⁾、小島賢一²⁾、桑原 健³⁾、
山元泰之⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 萩窓病院血液科
- 3) 国立循環器病研究センター薬剤部
- 4) 東京医科大学臨床検査医学科

O7-032 半固体化栄養剤を併用した経管栄養とcARTの粉碎注入の効果に関する検討

守屋千佳子¹⁾、千葉里沙¹⁾、鈴木剛史²⁾、
原 伸子²⁾、前田卓哉³⁾、藤倉雄二³⁾、
川名明彦³⁾、曾根原亘²⁾、小口康江¹⁾、
小林智恵子¹⁾

- 1) 防衛医科大学校病院看護部
- 2) 防衛医科大学校病院薬剤部
- 3) 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科

O7-033 身体的・心因的な服薬不耐容のため頻回に抗ウイルス剤の変更を余儀なくされ、最終的にMVC/DTG 2剤併用が有効だった一症例

松浦基夫¹⁾、那波みゆき²⁾、宇高 歩²⁾、
三田洋子³⁾

- 1) 堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
- 2) 堺市立総合医療センター薬剤科
- 3) 堺市立総合医療センター看護部

O7-034 インテグラーゼ阻害剤および非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤併用の可能性に関する検討

吉村幸浩、坂本洋平、李 広烈、
天野雄一郎、立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

O7-035 東京医科大学病院におけるドルテグラビルの使用状況と有害事象について

関根祐介¹⁾、平野智理¹⁾、富樫英晶¹⁾、
金子亜希子¹⁾、明石貴雄¹⁾、中村 造²⁾、
水野泰孝²⁾、鈴木隆史³⁾、山元泰之³⁾、
天野景裕³⁾、福武勝幸³⁾

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院感染症科
- 3) 東京医科大学病院臨床検査医学科

■日時：11月30日（月） 9:30～10:30

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

08 臨床：抗HIV療法2

座長 渡邊 大

（大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部）

宮川寿一

（熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部）

O8-036 国立大阪医療センターでのドルテグラビル変更例における血清Cre変化に関する検討

湯川理己^{1,3)}、渡邊 大^{1,2,3)}、山本雄大¹⁾、
廣田和之¹⁾、上地隆史¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、
笠井大介¹⁾、西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、
白阪琢磨^{1,2,3)}

- 1) 国立大阪医療センター感染症内科
- 2) 同臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 3) 大阪大学連携大学院エイズ先端医療学講座

O8-037 当院におけるドルテグラビル変更後52週の安全性と有効性の検討

鈴木克典^{1,2)}、真弓俊彦^{1,3)}、稻村由香⁴⁾、
寺本美江子^{1,5)}、田中美佐子⁵⁾、
曾我真千恵²⁾、齋藤和義²⁾、田中良哉²⁾

- 1) 産業医科大学病院感染制御部
- 2) 産業医科大学第一内科学
- 3) 産業医科大学救急医学
- 4) 産業医科大学病院薬剤部
- 5) 産業医科大学病院看護部

(一般演題) 口演

- O8-038 未治療 HIV 患者にドルテグラビルを使用した 3 試験のサブグループ解析：ドルテグラビルはベースラインウイルス量及び併用 NRTIs によらず、一貫した薬効を示す
- 藤原民雄¹⁾、Granier CM²⁾、Cuffe R³⁾、Martin-Carpenter L⁴⁾、Smith K⁴⁾、Brennan C⁵⁾、Pappa K⁵⁾、Wynne B⁵⁾、Almond S⁶⁾、Givens N²⁾、Aboud M³⁾
- 1) 塩野義製薬株式会社HIV Integrase Inhibitor Global Project
2) R&D, GlaxoSmithKline, Uxbridge, Middlesex, United Kingdom
3) ViiV Healthcare, London, United Kingdom
4) ViiV Healthcare, RTP, NC, United States
5) GlaxoSmithKline, RTP, NC, United States
6) GlaxoSmithKline, Mississauga, ON, Canada
- O8-039 軽度から中等度の腎機能障害がある HIV-1 感染症患者に E/C/F/TAF を投与した第 III 相臨床試験におけるアジア人の有効性及び安全性の評価
- 松下修三¹⁾、中本泰充²⁾、池田篤史²⁾、Pozniak A³⁾、Arribas J⁴⁾、Gupta S⁵⁾、Post F⁶⁾、Fordyce M⁷⁾
- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) 日本たばこ産業株式会社
3) Chelsea and Westminster Hospital NHS Foundation Trust
4) Hospital Universitario La Paz
5) Indiana University School of Medicine
6) King's College Hospital NHS Foundation Trust
7) Gilead Sciences
- O8-040 抗 HIV 薬による治療経験のない HIV-1 感染症患者に E/C/F/TAF を 48 週間投与した第 III 相臨床試験におけるアジア人の有効性及び安全性の評価
- 鶴永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾、中本泰充²⁾、池田篤史²⁾、Sax P³⁾、Wohl D⁴⁾、Yin M⁵⁾、Post F⁶⁾、Cheng A⁷⁾、Fordyce M⁷⁾、McCallister S⁷⁾
- 1) 国立国際医療研究センター・エイズ治療・研究開発センター
2) 日本たばこ産業株式会社
3) Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School
4) University of North Carolina
5) College of Physicians and Surgeons, Columbia University
6) King's College Hospital NHS Foundation Trust
7) Gilead Sciences
- O8-041 抗 HIV 薬による治療経験がありウイルス学的に抑制されている HIV-1 感染症患者に E/C/F/TAF を 48 週間投与した第 III 相臨床試験におけるアジア人の有効性及び安全性の評価
- 鶴永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾、中本泰充²⁾、池田篤史²⁾、Mills A³⁾、Arribas J⁴⁾、Andrade J⁵⁾、DiPerri G⁶⁾、Van Lunzen J⁷⁾、Liu Y⁸⁾、Cheng A⁸⁾、McCallister S⁸⁾
- 1) 国立国際医療研究センター・エイズ治療・研究開発センター
2) 日本たばこ産業株式会社
3) Southern California Men's Medical Group
4) Hospital Universitario La Paz
5) Hospital Civil de Guadalajara
6) Comprensorio Amedeo De Savoia Birago Di Vische
7) Universitätsklinikum Hamburg Eppendorf
8) Gilead Sciences
- 日時：11月30日（月） 10:30～11:20
■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）
- 09 臨床：生活習慣 1**
- 座長 古西 満
(奈良県立医科大学健康管理センター)
古賀一郎
(帝京大学医学部内科学講座)
- O9-042 HIV 感染患者の動脈硬化とその危険・予測因子の評価
宮川寿一、中田浩智、満屋裕明
熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部
- O9-043 HIV 感染者の骨量評価における定量的超音波骨量測定 (QUS) の臨床的意義
古西 満^{1,2)}、宇野健司²⁾、治田匡平³⁾、青井博志³⁾、赤澤紫乃³⁾、谷口美苗⁴⁾、平田一記²⁾、平位暢康²⁾、小川吉彦²⁾、今井雄一郎²⁾、小川 拓²⁾、米川真輔²⁾、中村（内山）ふくみ²⁾、笠原 敬²⁾、三笠桂一²⁾
- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
2) 奈良県立医科大学感染症センター
3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
4) 奈良県立医科大学附属病院看護部

(一般演題) 口演

O9-044 Cardio-ankle vascular index (CAVI) を用いた HIV 感染者の動脈硬化の評価とリスク因子の検討

遠藤知之¹⁾、宮下直洋^{1,2)}、笠原耕平^{1,2)}、
渡部恵子³⁾、武内阿味²⁾、松川敏大¹⁾、
金谷 穂¹⁾、小杉瑞葉¹⁾、松岡里湖¹⁾、
後藤秀樹¹⁾、杉田純一¹⁾、小野澤真弘¹⁾、
橋本大吾¹⁾、加畑 馨¹⁾、藤本勝也¹⁾、
近藤 健¹⁾、橋野 聰⁴⁾、豊嶋崇徳¹⁾

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) エイズ予防財団
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学保健センター

O9-045 抗 HIV 療法を 10 年以上継続している症例の検討—地方病院における同一主治医による観察—

鶴見 寿^{1,2)}、石原正志^{2,3)}、鶴見広美²⁾、
渡邊珠代²⁾、山口公大¹⁾、後藤尚絵¹⁾

- 1) 岐阜大学医学部附属病院血液感染症内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部

O9-046 CONUT 法を用いた HIV 陽性者の栄養評価と病勢コントロールとの関連性

河本菜津美¹⁾、加藤久美子¹⁾、白野倫徳²⁾、
後藤哲志²⁾、笠松 悠²⁾、豊島裕子³⁾、
松本美由紀⁴⁾、市田裕之⁵⁾、羽生大記¹⁾

- 1) 大阪市立大学生活科学部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 3) 大阪市立総合医療センター看護部
- 4) 大阪医療センター看護部
- 5) 大阪市立総合医療センター薬剤部

■日時：11月30日（月） 11:20～12:00

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

O10 臨床：日和見感染 1

座長 畠山修司

（自治医科大学附属病院総合診療内科・感染症科）

柴田 怜

（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

O10-047 ART 時代における進行性多巣性白質脳症の臨床経過についての検討

池内和彦¹⁾、福島一彰¹⁾、関谷綾子¹⁾、
佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、三浦義治³⁾、味澤 篤^{1,4)}、
今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院脳神経内科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

O10-048 HIV 感染合併ノカルジア症の臨床的検討

柴田 怜、西島 健、照屋勝治、
坪井基行、小林鉄郎、的野多加志、
上村 悠、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、青木孝弘、木内 英、
本田元人、塚田訓久、渴永博之、
菊池 嘉、岡 慎一

（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

O10-049 病理検査にて粘膜固有層に浸潤を認めた HIV 合併クリプトスピリジウム症の一例

城戸康年¹⁾、安達英輔¹⁾、古川龍太郎²⁾、
相野田祐介³⁾、福田直到¹⁾、菊地 正¹⁾、
古賀道子¹⁾、大田泰徳⁴⁾、平井由児³⁾、
鯉渕智彦¹⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) NTT東日本関東病院呼吸器内科
- 3) 東京女子医科大学病院感染症科
- 4) 東京大学医科学研究所附属病院病理部

O10-050 HIV 感染症に合併した悪性梅毒の 1 例

古畑匡規¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、関谷綾子¹⁾、
関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
味澤 篤³⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都立保健医療公社豊島病院

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月） 16:00～16:40

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

011 臨床：看護 1

座長 高山次代
(石川県立中央病院)

東 政美

(大阪医療センター看護部)

011-051 エイズ診療拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護体制に関する調査」結果から（その2）～患者からの相談と課題、支援ニーズについて～

長與由紀子¹⁾、城崎真弓¹⁾、小川良子²⁾、
城下由衣²⁾、木下一枝²⁾、池田有里²⁾、
渡部恵子³⁾、武内阿味³⁾、大野稔子³⁾、
成田月子³⁾、杉野祐子⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、
川口 玲⁶⁾、高山次代⁷⁾、羽柴知恵子⁸⁾、
下司有加⁹⁾、大金美和⁴⁾、池田和子⁴⁾

1) NHO九州医療センター

2) 広島大学病院

3) 北海道大学病院

4) 国立国際医療研究センター病院

5) NHO仙台医療センター

6) 新潟大学医歯学総合病院

7) 石川県立中央病院

8) NHO名古屋医療センター

9) NHO大阪医療センター

011-052 エイズ診療拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護体制に関する調査」結果から（その1）～患者ケア実施に関する現状と課題～

小川良子¹⁾、城下由衣¹⁾、木下一枝¹⁾、
池田有里¹⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、
渡部恵子³⁾、武内阿味³⁾、大野稔子³⁾、
成田月子³⁾、杉野祐子⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、
川口 玲⁶⁾、高山次代⁷⁾、羽柴知恵子⁸⁾、
下司有加⁹⁾、大金美和⁴⁾、池田和子⁴⁾

1) 広島大学病院

2) NHO九州医療センター

3) 北海道大学病院

4) 国立国際医療研究センター病院

5) NHO仙台医療センター

6) 新潟大学医歯学総合病院

7) 石川県立中央病院

8) NHO名古屋医療センター

9) NHO大阪医療センター

011-053 米子医療センターにおけるHIV/AIDS 患者への看護支援を考える～QOL 調査結果と患者背景からの検討～

作野真澄、浜田のぞみ、新田ひとみ、
中崎清未、岡本あゆ美、布施道代、
東森昌江

米子医療センター

011-054 HIV 患者の支援者を対象とした外来相談活動の検討

宮林優子、寺澤美穂

横浜市立市民病院

■日時：11月30日（月） 16:40～17:20

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

012 臨床：看護 2

座長 宮城京子
(琉球大学医学部附属病院看護部)

渡部恵子

(北海道大学病院看護部)

012-055 HIV/AIDS 不定期受診患者の傾向と効果的な受診継続支援の検討

城下由衣¹⁾、小川良子²⁾、池田有里²⁾、
木下一枝²⁾、藤井輝久³⁾、齊藤誠司³⁾、
山崎尚也³⁾、喜花伸子¹⁾、浅井いづみ¹⁾、
金崎慶大¹⁾、藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、
畠井浩子⁴⁾、高田 昇⁵⁾

1) 広島大学病院エイズ医療対策室

2) 広島大学病院看護部

3) 広島大学病院輸血部

4) 広島大学病院薬剤部

5) 広島化学園大学看護学部

012-056 HIV 陽性受刑者の出所後の治療継続支援

関きく江¹⁾、藤川祐子²⁾、宮島寛幸¹⁾、
武川 正¹⁾、山崎 喬¹⁾、西澤美佳子¹⁾、
北山理恵¹⁾、堤 彰子¹⁾、中島恵利子¹⁾、
齊藤 博¹⁾、山崎善隆¹⁾

1) 長野県立須坂病院

2) 東北大学大学院医学系研究科感染制御・検査診療学
分野

(一般演題) 口演

- 012-057 A 外来の外国人 HIV 患者への看護支援～通訳者への積極的介入を行った一事例を通して～

村上則子、宮越郁子、多羽田直実、
白井佐恵子、杉山ひかる、佐々木祐子、
松田幸恵、最上いくみ、菅原ひろみ

札幌医科大学附属病院

- 012-058 HIV/AIDS 医療の組織化における慢性疾患看護専門看護師の活動の現状と課題

高橋 恵¹⁾、林 俊誠²⁾

1) 日本赤十字社前橋赤十字病院看護部
2) 前橋赤十字病院感染症内科

■日時：11月30日（月） 8:30～9:20

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F 天空サウス）

013 社会：政策 1

座長 横幕能行

（名古屋医療センターエイズ治療開発センター）

城所敏英

（東京都島しょ保健所）

- 013-059 エイズ診療中核拠点病院と地域の医療・看護・介護施設との連携への取り組み

高木雅敏¹⁾、武村記枝¹⁾、植野里織¹⁾、
上田直美¹⁾、塘田貴代美¹⁾、中田浩智²⁾、
宮川寿一²⁾、松下 修³⁾、満屋裕明²⁾

1) 熊本大学医学部附属病院血液内科
2) 熊本大学医学部附属病院感染免疫診療科
3) 熊本大学エイズ学研究センター

- 013-060 地域社会における包括的 HIV ケアを目指した群馬県エイズ診療拠点・協力病院アンケート調査

柳澤邦雄¹⁾、小川孔幸¹⁾、干川孔明²⁾、
田子明弘²⁾、川島 崇³⁾、合田 史⁴⁾、
林 俊誠⁵⁾、澤村守夫⁶⁾、内海英貴¹⁾、
半田 寛¹⁾、野島美久¹⁾、田村遵一^{2,7)}

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科
2) 群馬県健康福祉部保健予防課感染症対策係
3) 群馬県医師会（感染症対策）
4) 高崎総合医療センター総合診療科
5) 前橋赤十字病院感染症内科
6) 西群馬病院血液内科
7) 群馬大学医学部附属病院総合診療部

- 013-061 首都圏近郊に位置するエイズ治療拠点病院に求められる役割（第2報）(5年間の活動報告)

松永伸一^{1,2)}、土谷良樹¹⁾、武田悟秋¹⁾、
井川千恵子¹⁾、角南直美³⁾、柳田月美¹⁾

1) 東京労働者医療会東葛病院

2) みさと健和病院

3) わかば薬局

- 013-062 診療所における HIV 感染症診療の試み—8

根岸昌功¹⁾、南宮 湖^{1,2)}、荒井祐貴子¹⁾、
織田幸子¹⁾、西岡春菜¹⁾、木村リエ¹⁾

1) ねぎし内科診療所

2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科

- 013-063 長期入院療養から在宅療養へ～長期化する HIV 感染症入院に対するアプローチ

外島正樹

自治医科大学臨床感染症センター感染症科

■日時：11月30日（月） 9:20～10:10

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F 天空サウス）

014 社会：カウンセリング 1

座長 矢永由里子

（慶應義塾大学医学部感染制御センター）

小松賢亮

（国立国際医療研究センターエイズ治療研究・開発センター）

- 014-064 HIV 医療における心理検査の実施と課題の検討—医師・看護師へのアンケート調査より—

中山京子¹⁾、辻麻理子²⁾、阪木淳子^{2,9)}、
松岡亞由子³⁾、塙本琢也^{4,9)}、渡邊愛祈^{5,9)}、
小松賢亮^{5,9)}、仲里 愛^{5,9)}、北志保里^{6,9)}、
森田真子⁷⁾、浅井いづみ⁸⁾

1) 大阪府立大学

2) 九州医療センター

3) 名古屋医療センター

4) 仙台医療センター

5) 国立国際医療研究センター病院

6) 石川県立中央病院

7) 大阪医療センター

8) 広島大学病院

9) エイズ予防財団

(一般演題) 口演

014-065 HIV 領域で働く臨床心理士が初回面接において留意している事柄—HIV 領域における新人臨床心理士のための指標—

中川雄真

新潟大学医歯学総合病院

014-066 HIV 感染症患者における初診時のメンタルヘルス等の諸因子と、その後の受診中断の関連性に関する研究

西川歩美^{1,2)}、安尾利彦¹⁾、森田眞子¹⁾、大谷ありさ¹⁾、宮本哲雄¹⁾、下司有加³⁾、白阪琢磨⁴⁾

- 1) 大阪医療センター臨床心理室
- 2) エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) 大阪医療センター看護部
- 4) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

014-067 広島大学病院における HIV 感染患者に対するカウンセリング介入の現状と課題—受診行動と精神科受診歴との関連から—

浅井いづみ^{1,5)}、喜花伸子^{1,2)}、齊藤誠司^{1,2)}、山崎尚也^{1,2)}、小川良子³⁾、木下一枝³⁾、池田有里³⁾、城下由衣^{2,5)}、金崎慶大^{2,5)}、藤井輝久^{1,2)}、高田 昇⁴⁾

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 広島文化学園大学看護学部
- 5) エイズ予防財団

014-068 中核拠点病院における中核相談事業およびチーム医療の円滑な実践（グループインタビュー分析を通して）

高田知恵子¹⁾、嶋 篤子²⁾、平塚信子³⁾、長浦由紀⁴⁾、加藤朋子⁵⁾、梅澤有美子⁶⁾、高橋義博⁷⁾、塚本琢也⁸⁾、山中京子⁹⁾

- 1) 秋田大学教育文化学部
- 2) 滋賀医科大学附属病院
- 3) 滋賀県
- 4) 長崎大学病院
- 5) 臨床心理士
- 6) 福井大学
- 7) 大館市立総合病院
- 8) 仙台医療センター
- 9) 大阪府立大学

■日時：11月30日（月） 10:10~11:00

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

015 社会：MSM1

座長 河口和也

(広島修道大学人文学部)

市川誠一

(人間環境大学大学院看護学研究科)

015-069 MSM の HIV 陽性者における性コントロール感有無とステigmaとの関連の検討

井上洋士¹⁾、戸ヶ里泰典¹⁾、細川陸也²⁾、阿部桜子³⁾、板垣貴志⁴⁾、片倉直子⁵⁾、山内麻江⁵⁾、佐藤未光⁷⁾、高久陽介⁸⁾、矢島 嵩⁹⁾、若林チヒロ¹⁰⁾、大木幸子¹¹⁾

- 1) 放送大学
- 2) 名古屋市立大学
- 3) TIS株式会社
- 4) アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) 東新宿こころのクリニック
- 8) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) ぶれいす東京
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 杏林大学

015-070 個別認知行動面接の実践から MSM の HIV 予防を考える

古谷野淳子¹⁾、松高由佳²⁾、桑野真澄³⁾、小松賢亮⁴⁾、長野 香⁵⁾、西川歩美⁶⁾、日高庸晴⁷⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- 2) 広島文教女子大学人間科学部心理学科
- 3) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
- 4) 国立国際医療研究センター－エイズ治療・研究開発センター
- 5) SHIP
- 6) 大阪医療センター
- 7) 宝塚大学看護学部

015-071 コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチ活動の効果評価—アウトリーチ介入実施店舗と未実施店舗の比較—

木南拓也^{1,2)}、岩橋恒太^{1,2)}、荒木順子^{1,2)}、佐久間久弘^{1,2)}、大島 岳¹⁾、金子典代³⁾、本間隆之⁴⁾、市川誠一⁵⁾

- 1) akta
- 2) エイズ予防財団
- 3) 名古屋市立大学
- 4) 山梨県立大学
- 5) 人間環境大学大学院

(一般演題) 口演

015-072 コミュニティを基盤とした組織(CBO)の受け入れとコミュニティ感覚—コミュニティセンターaktaを基点とするアウトリーチの評価—

本間隆之¹⁾、岩橋恒太^{2,3)}、木南拓也^{2,3)}、荒木順子^{2,3)}、佐久間久弘^{2,3)}、大島 岳³⁾、金子典代⁴⁾、市川誠一⁵⁾

1) 山梨県立大学
2) エイズ予防財団
3) akta
4) 名古屋市立大学
5) 人間環境大学大学院

015-073 ゲイバーにおける MSM 向けワークショップ型介入プログラム「LIFE-GUARD 2014」

藤部荒術¹⁾、嶋田憲司¹⁾、河口和也²⁾、高嶋能文³⁾、飯塚信吾¹⁾、太田昌二¹⁾、橋本広志¹⁾

1) 動くゲイとレズビアンの会(アカー)
2) 広島修道大学
3) 社団めぐみ会自由が丘メディカルプラザ2小児科

■日時：11月30日（月）11:00～11:30

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

016 社会：薬物依存

座長 肥田明日香

(アパリクリニック)

鎌倉光宏

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

016-074 HIV陽性男性における薬物使用状況と抗HIV薬内服状況およびハイリスク性行動との関連

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士¹⁾、細川陸也²⁾、阿部桜子³⁾、板垣貴志⁴⁾、片倉直子⁵⁾、山内麻江⁶⁾、高久陽介⁷⁾、矢島嵩^{7,8)}、若林チヒロ⁹⁾、大木幸子¹⁰⁾

1) 放送大学
2) 名古屋市立大学
3) TIS
4) アクセライト
5) 神戸市看護大学
6) 東京医大看護専門学校
7) ジャンププラス
8) ぶれいす東京
9) 埼玉県立大学
10) 杏林大学

016-075 薬物政策のためのアドボカシーネットワーク (Japan Advocacy Network for Drug Policy) の構築

古藤吾郎¹⁾、上岡陽江²⁾、山本 大³⁾、秋元恵一郎⁴⁾、高橋洋平⁵⁾

1) アジア太平洋地域アディクション研究所(アパリ)
2) ダルク女性ハウス
3) 日本ダルクアウェイクニングハウス
4) 東京ダルク
5) 高橋洋平法律事務所

016-076 薬物使用経験のある HIV 陽性 MSM の心理社会的要因—生態モデルによる分析から—

野坂祐子^{1,2)}、生島 嗣²⁾

1) 大阪大学大学院
2) ぶれいす東京

■日時：11月30日（月）11:30～12:00

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

017 社会：疫学

座長 鎌倉光宏

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

肥田明日香

(アパリクリニック)

017-077 大阪市における HIV 合併結核の現状と患者管理に関する検討

松本健二、奥町彰礼、小向 潤、津田侑子、齊藤和美、清水直子、細井舞子、安井典子、青木理恵、廣川秀徹
大阪市保健所

017-078 HIV陽性献血者における HIV-2 RNA の検出

齋麦田理英子、松本千恵子、篠原直也、内田茂治、永井 正、佐竹正博、田所憲治
日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

017-079 Real-time forecasting of HIV/AIDS epidemic in Japan

西浦 博

東京大学大学院医学系研究科

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月） 16:00～17:20

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F 天空サウス）

018 社会：陽性者支援

座長 葛田衣重

（東京医科大学病院総合相談・支援センター）

藤平輝明

（東京医科大学病院医療福祉相談室）

018-080 HIV陽性者対象の質問紙調査回答経験の有無と関連する属性・特性に関する検討

鈴木達郎¹⁾、井上洋士²⁾、板垣貴志¹⁾、
戸ヶ里泰典²⁾、細川陸也³⁾、阿部桜子⁴⁾、
片倉直子⁵⁾、山内麻江⁶⁾、高久陽介⁷⁾、
矢島嵩^{7,8)}、若林チヒロ⁹⁾、大木幸子¹⁰⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学
- 3) 名古屋市立大学
- 4) NTT docomo
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 8) ぶれいす東京
- 9) 埼玉県立大学
- 10) 杏林大学

018-081 子どもを持つHIV陽性者の子育てへの思い

細川陸也¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
阿部桜子³⁾、板垣貴志⁴⁾、片倉直子⁵⁾、
山内麻江⁶⁾、高久陽介⁷⁾、矢島嵩^{7,8)}、
若林チヒロ⁹⁾、大木幸子¹⁰⁾

- 1) 名古屋市立大学
- 2) 放送大学
- 3) TIS株式会社
- 4) アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 8) ぶれいす東京
- 9) 埼玉県立大学
- 10) 杏林大学

018-082 NPOによる対面相談のニーズとその対応に関する考察

生島嗣、牧原信也、福原寿弥

ぶれいす東京

018-083 新潟陽性者ピアミーティング「らっくら」取組報告

藏田裕、三浦かおり

新潟大学医歯学総合病院

018-084 当院における当事者の自助グループの発足とその経過報告

古川夢乃¹⁾、山下美津江²⁾、青野加奈子²⁾、
北志保里¹⁾、高山次代²⁾、中谷安宏²⁾

- 1) 石川県健康福祉部健康推進課
- 2) 石川県立中央病院

018-085 HIV陽性者のためのピア・ミーティングの運営と当事者の運営参加に関する考察
佐藤郁夫、加藤力也、牧原信也、生島嗣
ぶれいす東京

018-086 北里大学病院におけるHIV/AIDS患者の就労状況について

加藤笑¹⁾、和田達彦²⁾、齊藤聰子¹⁾、
松山晃代¹⁾、友田吉則³⁾、松本圭祐³⁾、
前田景子⁴⁾、高山陽子⁵⁾

- 1) 北里大学病院
- 2) 北里大学医学部膠原病・感染内科
- 3) 北里大学病院薬剤部
- 4) 北里大学病院トータルサポートセンター
- 5) 北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門感染制御学

018-087 介護事業者への性的マイノリティおよびHIV陽性者の受け入れ促進のための研修会

永易至文

パープル・ハンズ

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月）8:30～9:20
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

019 要望演題：創薬 1

座長 杉浦 真
(グラクソ・スミスクライン株式会社)

吉村和久
(国立感染症研究所・エイズ研究センター)

019-088 Elucidation of action mechanism of BMMP and synthesis of derivatives to improve its activity

Masahiro Kamo¹⁾、Hiroshi Tateishi¹⁾、
Minami Yamamoto¹⁾、
Yoshinari Okamoto¹⁾、
Yuko Morikawa²⁾、Shogo Misumi³⁾、
Masami Otsuka¹⁾、Mikako Fujita⁴⁾

1) Department of Bioorganic Medicinal Chemistry,
Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
2) Kitasato Institute for Life Sciences and Graduate School for Infection Control, Kitasato University
3) Department of Environmental and Molecular Health Sciences, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
4) Research Institute for Drug Discovery, School of Pharmacy, Kumamoto University

019-089 Regulatory mechanism of HIV uncoating by MEK/ERK2 signaling cascade and exploring of a novel anti-HIV agent

Takeo Duchi¹⁾、Ayano Akita¹⁾、
Nobutoki Takamune²⁾、
Naoki Kishimoto³⁾、Shogo Misumi³⁾

1) Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Kumamoto Univ.
2) KICO., Kumamoto Univ.
3) Grad. Sch. Life Sci., Kumamoto Univ.

019-090 Development of small CD4 mimic molecules with a mono-cyclohexyl type group targeting HIV-1 gp120

Misato Kotani¹⁾、Yu Irahara¹⁾、
Yusuke Ishida¹⁾、
Shigeyoshi Harada²⁾、Nami Ohashi¹⁾、
Yuko Yamada^{1,3)}、
Takaaki Mizuguchi¹⁾、
Tomoyuki Miura⁴⁾、Wataru Nomura¹⁾、
Shuzo Matsushita⁵⁾、
Kazuhisa Yoshimura²⁾、
Hirokazu Tamamura¹⁾

1) Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan
2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan
3) Pharmaceutical Department, Keio University Hospital, Tokyo, Japan
4) Institute for Virus Research, Kyoto University, Kyoto, Japan
5) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

019-091 Development of novel nucleoside reverse transcriptase inhibitors active against 4'-ethynyl-2'-fluoro-2'-deoxyadenosine(EFdA)-resistant HIV-1s

Kenji Maeda^{1,2)}、Yuki Takamatsu²⁾、
Satoru Kohgo¹⁾、Debananda Das²⁾、
Shinichiro Hattori¹⁾、
Simon B. Chang²⁾、Nicole S. Delino²⁾、
Kazuhiro Haraguchi³⁾、
Hiroaki Mitsuya^{1,2,4)}

1) Reserach Institute & Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan
2) Experimental Retrovirology Section, HIV and AIDS Malignancy Branch, National Cancer Institute, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA
3) Department of Pharmaceutical Sciences, Nihon Pharmaceutical University, Saitama, Japan
4) Departments of Hematology and Infectious Diseases, Kumamoto University Graduate School of Biomedical Sciences, Kumamoto, Japan.

(一般演題) 口演

O19-092 Design and synthesis of CD4 mimic molecules for improvement of pharmacokinetics

Takaaki Mizuguchi¹⁾、Yu Irahara¹⁾、
Sigeyoshi Harada²⁾、
Tomoyuki Miura³⁾、Misato Kotani¹⁾、
Yusuke Ishida¹⁾、Yuko Yamada^{1,4)}、
Nami Ohashi¹⁾、Wataru Nomura¹⁾、
Shuzo Matsushita⁵⁾、
Kazuhsia Yoshimura²⁾、
Hiroyasu Tamamura¹⁾

- 1) Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan
- 2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan
- 3) Institute for Virus Research, Kyoto University, Kyoto, Japan
- 4) Pharmaceutical Department, Keio University Hospital, Tokyo, Japan
- 5) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

■日時：11月30日（月）9:20～10:00

■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

O20 要望演題：創薬 2

座長 児玉栄一

（東北大学大学院医学系研究科宮城地域医療支援寄附講座）

前田賢次

（国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部レトロウイルス感染症研究室）

O20-093 Novel protease inhibitors, which bind to protease's flap region, strongly inhibit multi-drug resistant HIV-1 variants including darunavir-resistant variants

Hironori Hayashi^{1,2)}、Manabu Aoki²⁾、
Ravikiran S. Yedidi²⁾、
Hirotomo Nakata³⁾、
Debananda Das²⁾、
Teruya Nakamura⁴⁾、
Kazuya Hasegawa⁵⁾、
Yuriko Yamagata⁴⁾、Arun K. Ghosh⁶⁾、
Hiroaki Mitsuya^{1,2,3)}

1) Research Institute & Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine

2) Experimental Retrovirology Section, HIV and AIDS Malignancy Branch, National Cancer Institute, National Institutes of Health

3) Departments of Infectious Diseases and Hematology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences

4) Department of Structural Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University

5) Protein Crystal Analysis Division, Japan Synchrotron Radiation Research Institute

6) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

O20-094 Characterization of a new HIV integrase inhibitor resistance-associated secondary mutation, G149A.

Shigeru Miki、Takahiro Seki、
Akio Sato、Tomokazu Yoshinaga、
Tamio Fujiwara

Shionogi & Co., Ltd., Osaka, Japan

(一般演題) 口演

O20-095 *In vitro evaluation of the genotoxic potential of the novel anti-HIV protease inhibitor, KU-241, which is potent against multi-PI-Resistant HIV-1 variants*

Nobuyo Higashi-Kuwata¹⁾、
Manabu Aoki^{1,2,4)}、Shinichiro Hattori¹⁾、
Hiromi Ogata-Aoki²⁾、
Hironori Hayashi¹⁾、Kenji Maeda¹⁾、
Arun K. Ghosh⁵⁾、Hiroaki Mitsuya^{1,2,3)}

1) Department of Refractory Viral Infection, Experimental Retrovirology Section, Research Institute & Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan
2) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, Bethesda, MD, USA
3) Departments of Hematology and Infectious Diseases, Kumamoto University Graduate School of Biomedical Sciences, Kumamoto, Japan
4) Kumamoto Health Sci. University, Kumamoto, Japan
5) Department of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University, IN, USA

O20-096 Natural Polymorphism S119R of HIV-1 Integrase Enhances Primary INSTI Resistance

Atsuko Hachiya、Hirotaka Ode、
Masakazu Matsuda、Yumiko Kito、
Urara Shigemi、Kazuhiro Matsuoka、
Junji Immura、Yoshiyuki Yokomaku、
Wataru Sugiura、Yasumasa Iwatani

Department of Infectious Disease and Immunology, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center

■日時：11月30日（月）10:00～10:40

■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

021 要望演題：国際 1 アフリカ

座長 松岡佐織

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

上野貴将

(熊本大学エイズ学研究センター)

O21-097 Molecular epidemiology of HIV in North Kivu Province, Democratic Republic of Congo

Eiji Ido¹⁾、Stomy Karhemere²⁾、
Joseph Kayumba³⁾、
Joachim-Massa Mukedi³⁾、
Steve Ahuka²⁾、Ishmael Aziati⁴⁾、
Esinam Agbosu⁴⁾、James Brandful⁴⁾、
Kentaro Ibuki⁵⁾、
Jean-Jacques Muyembe²⁾

1) Tokyo Medical and Dental University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan
2) National Institute of Biomedical Research, Democratic Republic of Congo
3) General Hospital of Goma, North Kivu Province, Democratic Republic of Congo
4) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Ghana
5) Kyoto University, Graduate School of Medicine, Japan

O21-098 Low frequency of drug-resistant mutations against HIV protease inhibitors among patients receiving the first-line ART in Republic of Ghana

Eiji Ido¹⁾、Jacob Barnor²⁾、
Ishmael Aziati²⁾、Esinam Agbosu²⁾、
James Brandful²⁾、William Ampofo²⁾、
Samson Ofori³⁾、
George Danquah-Damptey³⁾、
Samuel Morton³⁾、Shoji Yamaoka¹⁾

1) Tokyo Medical and Dental University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan
2) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Ghana
3) Koforidua Regional Hospital, Ghana

(一般演題) 口演

- 021-099 Comparison of HIV-1 *nef* and *gag* Variations and Host HLA Characteristics as Determinants of Disease Progression among HIV-1 Vertically Infected Kenyan Children
Matilda Saina¹⁾, Bi Xiuqiong¹⁾, Raphael Lihana²⁾, Azumi Ishizaki¹⁾, Hiroshi Ichimura¹⁾
1) Kanazawa University, Graduate School of Medical Sciences
2) Kenya Medical Research Institute
- 022-102 Sensitive detection of tenofovir-induced tubular injury with urinary β -2 microglobuline in Vietnam
Daisuke Mizushima¹⁾, Shoko Matsumoto¹⁾, Hiroyuki Gatanaga^{1,2)}, Yoshimi Kikuchi¹⁾, Kinh Nguyen³⁾, Shinichi Oka^{1,2)}
1) National Center for Global Health and Medicine
2) Kumamoto University
3) National Hospital of Tropical Diseases
- 021-100 Prevalence of Entamoeba species in Kenyan children with and without HIV infection
Elizabeth Matey^{1,2)}, Masaharu Tokoro³⁾, Takehiro Nagamoto³⁾, Tetsushi Mizuno³⁾, Bi Xiuqiong¹⁾, E. M. Songok²⁾, Hiroshi Ichimura¹⁾
1) Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University
2) Kenya Medical Research Institute
3) Department of Parasitology, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University
- 022-103 Genetic analyses of HIV-1 strains transmitted from mother to child in Northern Vietnam
Thi Thu Chung Phan, Bi Xiuqiong, Azumi Ishizaki, Saina Matilda, Hiroshi Ichimura
Kanazawa University, Graduate School of Medical Sciences

■日時：11月30日（月）10:40～11:10
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

022 要望演題：国際2 ベトナム

座長 井戸栄治
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)
市村 宏
(金沢大学医薬保健研究域医学系ウイルス感染症制御学分野)

- 022-101 High treatment retention rate in HIV-infected patients on antiretroviral therapy at two large HIV clinics in Hanoi, Vietnam
Shoko Matsumoto¹⁾, Junko Tanuma¹⁾, Daisuke Mizushima¹⁾, Pham Thi Thanh Thuy²⁾, Kinh Van Nguyen³⁾, Shinichi Oka¹⁾
1) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan
2) Department of Infectious Diseases, Bach Mai Hospital, Hanoi, Vietnam
3) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam

■日時：11月30日（月）11:10～12:00
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

023 要望演題：国際3 モンゴル

座長 景山誠二
(鳥取大学医学部ウイルス学分野)
宮野真輔
(国立国際医療研究センター国際医療協力局)

- 023-104 CURRENT SITUATION OF HIV/AIDS IN MONGOLIA
Setsen Zayasaikhan, Sarantsetseg Amarsanaa, Oyunbeleg Bayandorj, Unenchimeg Puntsag, Davaalkham Jagdagsuren
AIDS/STI Surveillance and Research Department of the National Center for Communicable Disease

(一般演題) 口演

O23-105 Studies on NGOs' HIV Prevention Activities for MSM (Men who have sex with men) in Mongolia

Seiichi Ichikawa¹⁾、Satoshi Shiono²⁾、Noriyo Kaneko²⁾、Michiko Takakku¹⁾、Shinichi Oka³⁾、Myagmardorj Dorjgotov⁴⁾、Erdenetuya Gombo⁵⁾、Nyampurev Galsanjamts⁶⁾、Davaalkham Jagdagsuren⁷⁾

1) University of Human Environments, Japan
2) Nagoya City University, Japan
3) AIDS Clinical Center National Center for Global Health and Medicine, Japan
4) Youth for health center, Mongolia
5) Together Center, Mongolia
6) Human Rights Youth Support Center, Mongolia
7) National Center for Communicable Disease, Mongolia

O23-106 Community-Based MSM cohort in Ulaanbaatar with the finger vein authentication system

Misao Takano¹⁾、Erdenetuya Gombo²⁾、Setsen Zayasaikhan²⁾、Davaalkham Jagdagsuren²⁾、Masaya Sugiyama³⁾、Masasi Mizogami³⁾、Shinichi Oka⁴⁾

1) National Center for Global Health and Medicine
2) AIDS/STI surveillance and Research Department of the National Center for Communicable Disease, Mongolia
3) The Research Center for Hepatitis and Immunology, Research Institute National Center for Global Health and Medicine
4) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine

O23-107 A Survey of Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis B Virus Infection in a Men who have Sex with Men Cohort in Ulaanbaatar

Masaya Sugiyama、Masashi Mizokami、Shinichi Oka

National Center for Global Health and Medicine

O23-108 Molecular Epidemiology of HIV-1 in Mongolia

Naomi Kanayama¹⁾、Setsen Zayasaikhan²⁾、Kiyoto Tsuchiya¹⁾、Tsunefusa Hayashida¹⁾、Yoshimi Kikuchi¹⁾、Davaalkham Jagdagsuren²⁾、Hiroyuki Gatanaga^{1,3)}、Shinichi Oka^{1,3)}

1) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine
2) HIV/AIDS/STI Surveillance and Research Department, National Center for Communicable Diseases
3) Division of Infectious Disease, Center for AIDS Research, Kumamoto University

■日時：11月30日（月）8:30～9:30

■会場：第5会場（東京ドームホテルB1Fシンシアサウス）

O24 臨床：一般症例報告

座長 村松 崇

(東京医科大学病院臨床検査医学科)

水島大輔

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

O24-109 「ベーチェット病」として経過フォロー中にPCP発症にてAIDSと診断できた一例

河合暦美、鳴河宗聰、山本善裕

富山大学附属病院感染症科

O24-110 特定生物由来製品使用後にHIV抗体が陽転化し、Western Blot法で判定保留となつた偽陽性例：その原因と対応

林 俊誠¹⁾、高橋 恵²⁾

1) 前橋赤十字病院感染症内科

2) 前橋赤十字病院看護部

O24-111 ニューモシチス肺炎治療のみで軽快した著しい末梢血好酸球增多を伴う好酸球性肺炎合併AIDSの一例

森村 歩、笠松 悠、飯田 康、来住知美、白野倫徳、後藤哲志

大阪市立総合医療センター

(一般演題) 口演

- O24-112 MSM の HIV 感染者において性行為による感染が推定された細菌性赤痢の症例
石尾瑛子、上久保淑子、大谷眞智子、近澤悠志、備後真登、村松 崇、清田育男、四本美保子、大瀧 学、萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、山元泰之、福武勝幸
東京医科大学病院臨床検査医学科
- O24-113 光線過敏性皮膚炎と著明な高 IgE 血症を呈した HIV 感染症の 1 例
藤友結実子¹⁾、福盛勇介²⁾、児玉真衣¹⁾、中西雅樹¹⁾、藤田直久¹⁾、小阪直史³⁾、辻森あゆみ⁴⁾
1) 京都府立医科大学附属病院感染症科
2) 洛和会丸太町病院救急・総合診療科
3) 京都府立医科大学附属病院薬剤部
4) 京都府立医科大学附属病院医療サービス課
- O24-114 突然の両下肢麻痺を来し急激な経過を辿ったムーコル症合併 AIDS の 1 例
中田浩智¹⁾、宮川寿一¹⁾、山村綾子¹⁾、上野志貴子¹⁾、満屋裕明^{1,2)}
1) 熊本大学医学部附属病院
2) 国立国際医療研究センター臨床研究センター
- 日時：11月30日（月）9:30～10:20
■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1F シンシアサウス）
- O25 臨床：副作用**
- 座長 古賀道子
(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)
内藤俊夫
(順天堂大学医学部総合診療科)
-
- O25-115 ドルテグラビル開始後の推算糸球体ろ過量低下についての検討
日笠真一¹⁾、秀田恭子¹⁾、安田 恵²⁾、柳井美奈¹⁾、木村 健¹⁾、徳川多津子³⁾、澤田暁宏³⁾、日笠 聰³⁾
1) 兵庫医科大学病院薬剤部
2) 兵庫医療大学薬学部
3) 兵庫医科大学血液内科
- O25-116 TDF 服用による尿中 β2 ミクログロブリンの高値と ABCC4 遺伝子の一塩基多型との相関
中山英美¹⁾、Sirirat Likanonsakul²⁾、Bussakorn Suntisuklappon²⁾、Ravee Nitayanontakij²⁾、Pimrapat Tengtrakulcharoen³⁾、Wisit Prasithsirikul²⁾、塙田達雄^{1,2)}、Chariya Sangsajja²⁾
1) 大阪大学微生物病研究所
2) Bamrasnaradura Infectious Diseases Institute, Thailand
3) Mahidol University, Thailand
- O25-117 HIV 感染症患者におけるバルガンシクロビル投与時の臨床検査値の変化に関する調査
富島公介¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、山本雄大²⁾、湯川理己²⁾、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、上地隆史²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾
1) 大阪医療センター薬剤部
2) 大阪医療センター感染症内科
- O25-118 フルチカゾン点鼻とリトナビル併用によるクッシング症候群を発症した HIV 感染者の 1 例
深井真奈美¹⁾、関谷綾子¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾
1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) 同臨床検査科
- O25-119 日本人を含む世界の HLA-B*57:01 分布について
宮崎有紀¹⁾、楠木靖史¹⁾、藤井康彦²⁾、林 晃司¹⁾、二神貴臣¹⁾、小島裕人¹⁾、辻野貴史¹⁾、藤井直樹¹⁾、末上伸二¹⁾、池田奈未¹⁾、堀江友人¹⁾、西川美年子¹⁾、田中秀則¹⁾、佐治博夫¹⁾
1) HLA研究所
2) 山口大学医学部附属病院輸血部/再生細胞治療センター

(一般演題) 口演

■日時：11月30日（月） 10:20～11:10

■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアサウス）

026 臨床：服薬アドヒアランス

座長 井門敬子

（愛媛大学医学部附属病院薬剤部）

増田純一

（国立国際医療研究センター薬剤部）

026-120 当センターにおける初回抗HIV療法導入症例の検討

青木孝弘、坪井基行、小林鉄郎、
的野多加志、上村 悠、柴田 恵、
柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、
西島 健、木内 英、本田元人、
塙田訓久、照屋勝治、渴永博之、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターEIZ治療・研究開発センター

026-121 ARTに対するアドヒアランスを低下させる因子の解析—アンケートの結果から—

大石裕樹¹⁾、森本清香¹⁾、西野 隆¹⁾、
城崎真弓³⁾、長與由紀子³⁾、辻麻理子²⁾、
阪木淳子²⁾、犬丸真司³⁾、高濱宗一郎²⁾、
南 留美²⁾、郭 悠²⁾、山本政弘²⁾

1) 九州医療センター薬剤部
2) 九州医療センター免疫感染症科
3) 九州医療センター看護部

026-122 RaltegravirとLopinavir/RitonavirによるNRTI-sparingが著効した多剤耐性の1例

森 尚義¹⁾、谷口晴記²⁾

1) 三重県立総合医療センター薬剤部
2) 三重県立総合医療センター産婦人科

026-123 ドルテグラビル服用後のCD4陽性リンパ球数の変化

下川千賀子¹⁾、安田明子¹⁾、辻 典子²⁾、
柏原宏暢¹⁾、中谷安宏³⁾

1) 石川県立中央病院薬剤部
2) エイズ予防財団
3) 石川県立中央病院免疫感染症科

026-124 広島大学病院におけるHIV感染者が抱える精神疾患と受診行動への影響

齊藤誠司^{1,2)}、山崎尚也^{1,2)}、藤井輝久^{1,2)}、
城下由衣^{2,6)}、小川良子³⁾、池田有里³⁾、
浅井いづみ^{2,6)}、喜花伸子²⁾、金崎慶大^{2,6)}、
藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、畠井浩子⁴⁾、
高田 昇⁵⁾

1) 広島大学病院輸血部
2) 広島大学病院エイズ医療対策室
3) 広島大学病院看護部
4) 広島大学病院薬剤部
5) 広島文化学園大学看護学部
6) エイズ予防財団

■日時：11月30日（月） 11:10～12:00

■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアサウス）

027 臨床：臨床薬理

座長 矢倉裕輝

（大阪医療センター薬剤部）

大石裕樹

（九州医療センター薬剤部）

027-125 日本人HIV-1感染症患者における1日1回ドルテグラビル投与時の血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、富島公介¹⁾、
山本雄大²⁾、湯川理己²⁾、廣田和之²⁾、
伊熊素子²⁾、上地隆史²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、
笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、
吉野宗宏³⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) 大阪医療センター薬剤部
2) 大阪医療センター感染症内科
3) 姫路医療センター薬剤部

027-126 日本人HIV患者におけるドルテグラビル血中濃度の検討

大木桜子¹⁾、土屋亮人²⁾、林田庸総²⁾、
増田純一¹⁾、渴永博之²⁾、菊池 嘉²⁾、
和泉啓司郎¹⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
2) 国立国際医療研究センターEIZ治療・研究開発センター

027-127 HIV感染妊婦におけるdolutegravir血中濃度の検討

尾崎淳子¹⁾、小林正行²⁾、矢野育子¹⁾、
杉並 興³⁾、松原和夫¹⁾、高折晃史²⁾

1) 京都大学医学部附属病院薬剤部
2) 京都大学医学部附属病院血液・腫瘍内科
3) 京都大学医学部附属病院産科・婦人科

(一般演題) 口演

- O27-128 ラットにおけるラルテグラビル髄液中濃度と脳内局在についての検討
土屋亮人¹⁾、濱田哲暢^{2,3)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,4)}、湯永博之^{1,4)}
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2) 国立がん研究センター先端医療開発センター臨床薬理TR分野
3) 熊本大学大学院医学教育部腫瘍治療・トランスレーショナル学分野
4) 熊本大学エイズ学研究センター
- O27-129 キードラッグがテノホビルの血中濃度に及ぼす影響
柳田宏幸¹⁾、富島公介¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、山本雄大²⁾、湯川理己²⁾、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、上地隆史²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、吉野宗宏³⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾
1) 大阪医療センター薬剤部
2) 大阪医療センター感染症内科
3) 姫路医療センター薬剤部
- O28-131 当院の性交渉感染によるHIV感染者における非エイズ期末治療期のCD4陽性リンパ球数減少速度の歴史的推移
菊地 正、福田直到、宮崎菜穂子、佐藤秀憲、大龜路生、安達英輔、古賀道子、鯉渕智彦
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- O28-132 HIV感染患者における好中球CD64表面抗原量の検討
加勢田富士子^{1,2)}、村田昌之¹⁾、浦 和也^{1,2)}、志水元洋¹⁾、豊田一弘¹⁾、小川栄一¹⁾、古庄憲浩¹⁾、林 純³⁾
1) 九州大学病院総合診療科
2) 九州大学大学院感染制御医学分野
3) 原土井病院九州総合診療センター
- O28-133 HIV感染者における血清クレアチニナーゼ上昇の検討
福田直到、安達英輔、城戸康年、菊地 正、古賀道子、鯉渕智彦
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：11月30日（月） 16:00～16:40

■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアサウス）

028 臨床：その他 1

- 座長 味澤 篤
(東京都保健医療公社豊島病院)
齊藤誠司
(広島大学病院輸血部)

- O28-130 抗HIV療法でコントロールされているHIV感染症患者のTリンパ球サブセットと免疫マーカー発現の検討
藤本勝也¹⁾、小杉瑞葉^{1,2)}、金谷 穂¹⁾、笠原耕平^{1,5)}、宮下直洋^{1,5)}、後藤秀樹^{1,3)}、杉田純一¹⁾、小野澤真弘¹⁾、橋本大吾¹⁾、加畠 韶^{1,2)}、遠藤知之¹⁾、近藤 健¹⁾、橋野 聰⁴⁾、豊嶋崇徳¹⁾
1) 北海道大学大学院医学研究科血液内科
2) 北海道大学病院検査・輸血部
3) 北海道大学病院臨床研究開発センター
4) 北海道大学保健センター
5) エイズ予防財団

028-133 HIV感染者における血清クレアチニナーゼ上昇の検討

福田直到、安達英輔、城戸康年、菊地 正、古賀道子、鯉渕智彦

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：11月30日（月） 16:40～17:20

■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアサウス）

029 臨床：その他 2

- 座長 伊藤俊広
(仙台医療センター感染症内科)
西島 健
(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

029-134 HIV感染患者におけるクリオグロブリン血症～EBV再活性化との関連～

山本政弘¹⁾、南 留美¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、郭 悠¹⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、犬丸真司²⁾、山地由恵²⁾

1) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
2) 九州医療センター看護部

029-135 65歳以上で診断されたHIV感染者に関する検討

佐々木秀悟^{1,2)}、関谷紀貴²⁾、関谷綾子¹⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、味澤 篤^{1,3)}、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科
3) 東京都保健医療公社豊島病院

(一般演題) 口演

- O29-136 滋賀県中核拠点病院 HIV チーム—実績と課題の報告—
美濃亜朱¹⁾、井手径子¹⁾、小池ゆかり¹⁾、
原田利恵¹⁾、朝香彩葉¹⁾、澤村由莉¹⁾、
樋島 雪¹⁾、中村和希¹⁾、佐藤根美愛¹⁾、
美濃正臣¹⁾、木藤克之²⁾、小泉祐介^{2,4)}、
南口仁志²⁾、新居加菜³⁾
1) 滋賀医科大学医学部付属病院看護部
2) 滋賀医科大学血液内科
3) 滋賀医科大学医学部付属病院医療サービス課
4) 愛知医科大学感染症科
- O30-140 HIV-1 p2 peptide は電子伝達系複合体 IV に対してポジティブ・アロステリック・モジュレーターとして機能する
岸本直樹¹⁾、竹元雄輝²⁾、小川実菜子²⁾、
角真太郎²⁾、鈴 伸也³⁾、高宗暢暎⁴⁾、
庄司省三¹⁾、三隅将吾¹⁾
1) 熊本大学大学院生命科学研究所環境分子保健学
2) 熊本大学大学院薬学教育部環境分子保健学
3) 熊本大学エイズ学研究センター・国際先端医学研究拠点施設
4) 熊本大学イノベーション推進機構

- O29-137 当センターにおける新規 HIV 感染例の診断契機の検討
西島 健、高野 操、小山美紀、
阿部直美、木下真里、鈴木ひとみ、
杉野祐子、大金美和、池田和子、
上村 悠、柴田 怜、柳川泰昭、
小林泰一郎、水島大輔、青木孝弘、
木内 英、塚田訓久、照屋勝治、
潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- O30-141 HIV-1 Gag p1 ペプチドのウイルス生活環における機能的解析
櫻木小百合、武田英里、塩田達雄、
櫻木淳一
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野
- O30-142 HIV env V3 領域周辺の deep sequencing による quasispecies 解析
林田庸総、土屋亮人、潟永博之、
菊池 嘉、岡 慎一
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：12月1日（火）8:40～9:30

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F 天空ノース）

O30 基礎：複製

- 座長 武内寛明
(東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野)
蝦名博貴
(京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域)

- O30-138 HIV-1 インテグラーゼの変異が及ぼす酵素活性以外への影響と機序の解析
高畠辰郎¹⁾、徳永研三²⁾、長谷川温彦¹⁾、
神奈木真理¹⁾、増田貴夫¹⁾
1) 東京医科歯科大学免疫治療学分野
2) 国立感染症研究所感染病理部

- O30-139 HIV-1 脱殻過程のカプシドタンパク質 Thr²¹⁶ リン酸化依存的制御機構
曾根将平¹⁾、堂地赳生¹⁾、高宗暢暎²⁾、
岸本直樹³⁾、三隅将吾³⁾
1) 熊本大学大学院薬学教育部環境分子保健学
2) 熊本大学イノベーション推進機構
3) 熊本大学大学院生命科学研究所環境分子保健学

- O30-143 HIV-1 產生に寄与する新規宿主細胞因子 SPSB3 の解析
鈴木尚人¹⁾、佐久間龍太^{1,2)}、齊戸秀樹¹⁾、
芳田 剛¹⁾、武内寛明¹⁾、山岡昇司¹⁾
1) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野
2) ヤンセンファーマ株式会社
- O31-144 リン酸化酵素 MELK による HIV-1 感染後期過程制御機構の解析
武内寛明、山岡昇司
東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野

(一般演題) 口演

- O31-145 HIV-1 の指向性変化に対する APOBEC 3G の影響
松村次郎、大脇敦子、新谷英滋、高橋秀実
日本医科大学微生物学・免疫学
- O31-146 細胞内抑制因子 Fv1 存在下における、レトロウイルスゲノムの細胞内局在の解析
大倉定之¹⁾、Stoye Jonathan²⁾、
高橋秀実¹⁾
1) 日本医科大学微生物学免疫学教室
2) Division of Virology, MRC National Institute for Medical Research
- O31-147 HIV-1 プロテアーゼによる自然免疫回避機構の解析
工藤あゆみ¹⁾、松永智子¹⁾、澤崎達也²⁾、
梁 明秀¹⁾
1) 横浜市立大学医学部微生物学
2) 愛媛大学プロテオサイエンスセンター
- O32-149 HIV 感染症患者に合併した眼梅毒 20 症例の検討
坪井基行¹⁾、八代成子²⁾、西島 健¹⁾、
柴田 怜¹⁾、小林鉄郎¹⁾、的野多加志¹⁾、
上村 悠¹⁾、柳川泰昭¹⁾、小林泰一郎¹⁾、
水島大輔¹⁾、木内 英¹⁾、青木孝弘¹⁾、
本田元人¹⁾、照屋勝治¹⁾、塚田訓久¹⁾、
潟永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター
2) 国立国際医療研究センター病院眼科
- O32-150 眼症状を契機に眼梅毒と HIV 感染の合併が判明した 3 例
福島一彰¹⁾、柳澤如樹¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、
関谷綾子¹⁾、関谷紀貴²⁾、菅沼明彦¹⁾、
川口龍史³⁾、味澤 篤^{1,4)}、今村顯史¹⁾
1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3) がん・感染症センター都立駒込病院眼科
4) 東京都保健医療公社豊島病院
- O32-151 HIV 感染症合併虫垂炎におけるアメーバ性虫垂炎の特徴
小林泰一郎、渡辺恒二、上村 悠、
柴田 怜、柳川泰昭、水島大輔、
西島 健、木内 英、青木孝弘、
本田元人、照屋勝治、潟永博之、
塚田訓久、菊池 嘉、岡 慎一
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- O32-152 赤痢アメーバ症の臨床分離株樹立プロジェクト
柳川泰昭¹⁾、渡辺恒二¹⁾、永田尚義²⁾、
坪井基行¹⁾、柴田 怜¹⁾、上村 悠¹⁾、
小林鉄郎^{1,5)}、的野多加志¹⁾、小林泰一郎¹⁾、
水島大輔¹⁾、西島 健^{1,5)}、青木孝弘¹⁾、
木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、照屋勝治¹⁾、
塚田訓久¹⁾、野崎智義³⁾、小林正規⁴⁾、
潟永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター
2) 国立国際医療研究センター病院消化器内科
3) 国立感染症研究所寄生動物部
4) 慶應大学医学部感染症学
5) 熊本大学大学院医学教育部

■日時：12月1日（火） 10:20～11:20

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F 天空ノース）

O32 臨床：STI・STD

座長 田邊嘉也
(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

青木孝弘
(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

- O32-148 HIV 感染患者での自動化法 RPR 測定による梅毒治療効果判定の有効性
的野多加志、西島 健、坪井基行、
上村 悠、柴田 怜、小林鉄郎、
柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、
青木孝弘、木内 英、本田元人、
照屋勝治、潟永博之、塚田訓久、
菊池 嘉、岡 慎一
国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

(一般演題) 口演

O32-153 HIV 感染者に合併した急性淋菌性前立腺炎の一例

田形愛美¹⁾、福島一彰¹⁾、関谷綾子¹⁾、
佐々木秀悟²⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、味澤 篤^{1,3)}、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

■日時：12月1日（火） 11:20～12:00

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F天空ノース）

O33 臨床：薬剤耐性

座長 上田敦久

（横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学）

照屋勝治

（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

O33-154 本邦の新規 HIV/AIDS 診断症例における
薬剤耐性 HIV の動向

岡崎玲子¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、鶴永博之²⁾、
渡邊 大³⁾、長島真美⁴⁾、貞升健志⁴⁾、
近藤真規子⁵⁾、南 留美⁶⁾、吉田 繁⁷⁾、
小島洋子⁸⁾、森 治代⁸⁾、内田和江⁹⁾、
椎野禎一郎¹⁰⁾、加藤真吾¹¹⁾、豊嶋崇徳⁷⁾、
伊藤俊広¹²⁾、猪狩英俊¹³⁾、上田敦久¹⁴⁾、
石ヶ坪良明¹⁴⁾、古賀一郎¹⁵⁾、太田康男¹⁵⁾、
山元泰之¹⁶⁾、福武勝幸¹⁶⁾、古賀道子¹⁷⁾、
西澤雅子¹⁰⁾、林田庸総²⁾、岡 慎一²⁾、
松田昌和¹⁾、服部純子¹⁾、重見 麗¹¹⁾、
保坂真澄¹⁾、横幕能行¹¹⁾、中谷安宏¹⁸⁾、
田邊嘉也¹⁹⁾、白阪琢磨³⁾、藤井輝久²⁰⁾、
高田 昇²¹⁾、高田清式²²⁾、山本政弘⁶⁾、
松下修三²³⁾、藤田次郎²⁴⁾、健山正男²⁴⁾、
杉浦 瓦¹⁾、岩谷靖雅¹⁾、吉村和久¹⁰⁾

- 1) 名古屋医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) 大阪医療センター
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 神奈川県衛生研究所
- 6) 九州医療センター
- 7) 北海道大学
- 8) 大阪府立公衆衛生研究所
- 9) 埼玉県衛生研究所
- 10) 国立感染症研究所
- 11) 慶應義塾大学
- 12) 仙台医療センター
- 13) 千葉大学
- 14) 横浜市立大学
- 15) 帝京大学
- 16) 東京医科大学
- 17) 東京大学医科学研究所
- 18) 石川県立中央病院
- 19) 新潟大学
- 20) 広島大学
- 21) おだ内科クリニック
- 22) 愛媛大学
- 23) 熊本大学
- 24) 琉球大学

(一般演題) 口演

O33-155 2015 年度 HIV 薬剤耐性検査外部精度評価の報告

吉田 繁¹⁾、蜂谷敦子²⁾、松田昌和²⁾、
橋本 修³⁾、齊藤浩一³⁾、岡田清美⁴⁾、
伊部史朗⁴⁾、和山行正⁴⁾、椎野禎一郎⁵⁾、
加藤真吾⁶⁾、佐藤かおり⁷⁾、豊嶋崇徳⁸⁾、
杉浦 真^{2,9)}、吉村和久⁵⁾

- 1) 北海道大学大学院保健科学研究院
- 2) 名古屋医療センター
- 3) LSIメディエンス
- 4) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 5) 国立感染症研究所
- 6) 慶應義塾大学医学部微生物学
- 7) 北海道大学病院検査・輸血部
- 8) 北海道大学病院血液内科
- 9) グラクソ・スミスクライン株式会社

O33-156 M184V/I を含む薬剤耐性 HIV-1 感染症に対する抗レトロウイルス薬の検証

谷口俊文、櫻井隆之、漆原崇司、猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

O33-157 当センターにおける Stribild 耐性症例の検討

青木孝弘、坪井基行、小林鉄郎、
的野多加志、上村 悠、柴田 怜、
柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、
西島 健、木内 英、本田元人、
塙田訓久、照屋勝治、潟永博之、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：12月1日（火） 14:40～15:40

■会場：第1会場（東京ドームホテル
B1F天空ノース）

034 臨床：肝炎合併

座長 四柳 宏

（東京大学医学部感染症内科）

萩原 剛

（東京医科大学臨床検査医学科）

O34-158 当院における HIV 感染症患者における B 型肝炎ウイルス感染の状況

松本剛史^{1,2)}、伊野和子²⁾、中森良樹²⁾、
宮崎香奈²⁾、門間文彦²⁾、藤枝敦史²⁾、
杉本由香²⁾、俵 功²⁾、山口素子²⁾、
大石晃嗣^{1,2)}、柳屋正浩²⁾、和田英夫^{2,3)}、
西川政勝^{2,4)}、片山直之²⁾

- 1) 三重大学医学部附属病院輸血部
- 2) 三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学
- 3) 三重大学大学院医学系研究科検査医学
- 4) 三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター

O34-159 透析導入中に B 型肝硬変を併発した HIV 感染者にツルバダ配合錠の投与をテノホビル血中濃度に基づいて検討した症例

築地茉莉子¹⁾、山崎伸吾¹⁾、中村貴子¹⁾、
鈴木貴明¹⁾、有吉範高¹⁾、猪狩英俊²⁾、
石井伊都子¹⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

O34-160 当院における HIV・HCV 重複感染者の肝炎の現況

上村 悠¹⁾、塙田訓久¹⁾、土屋亮人¹⁾、
坪井基行¹⁾、小林鉄郎¹⁾、的野多加志¹⁾、
柴田 怜¹⁾、柳川泰昭^{1,2)}、小林泰一郎¹⁾、
水島大輔^{1,2)}、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、照屋勝治¹⁾、
潟永博之^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,2)}

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター

O34-161 HIV 感染者に発症した急性 C 型肝炎の 1 例

西川晃司¹⁾、関谷綾子¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、
関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
今村顕史¹⁾

- 1) 都立駒込病院感染症科
- 2) 都立駒込病院臨床検査科

(一般演題) 口演

O34-162 IFN 治療不応の HIV 合併 C 型肝炎に対して Asunaprevir+Daclastavir で治療した 1 例

西村 翔、大路 剛、岩田健太郎

神戸大学医学部付属病院感染症内科

O34-163 HIV 感染患者に施行した摘脾の影響に関する検討

笠井大介¹⁾、山本雄大¹⁾、湯川理己¹⁾、廣田和之¹⁾、上地隆史¹⁾、伊熊素子¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾、池田正孝²⁾、石田 永³⁾、三田英治³⁾

1) 大阪医療センター感染症内科
2) 大阪医療センター外科
3) 大阪医療センター消化器内科

■日時：12月1日（火）8:40～9:40

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F 天空センター）

O35 臨床：抗 HIV 療法 3

座長 鯉渕智彦

（東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科）

長谷川直樹

（慶應義塾大学医学部感染制御センター）

O35-164 当院における Dolutegravir の使用状況

青井博志¹⁾、治田匡平¹⁾、赤澤紫乃¹⁾、古西 満²⁾、宇野健司³⁾、小川吉彦³⁾、小川 拓³⁾、笠原 敬³⁾、三笠桂一³⁾、谷口美苗⁴⁾、梶井節子⁴⁾

1) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
2) 奈良県立医科大学健康管理センター
3) 奈良県立医科大学感染症センター
4) 奈良県立医科大学附属病院看護部

O35-165 当院におけるドルテグラビルの使用経験
坂部茂俊、豊嶋弘一、辻 幸太

伊勢赤十字病院感染症内科

O35-166 当院におけるドルテグラビル中止例に関する検討

矢嶋敬史郎¹⁾、矢倉裕輝²⁾、山本雄大¹⁾、湯川理己¹⁾、廣田和之¹⁾、伊熊素子¹⁾、笠井大介¹⁾、渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 大阪医療センター感染症内科
2) 大阪医療センター薬剤部

O35-167 駒込病院におけるドルテグラビルの使用状況～投与中止例から考える忍容性について～

朽木絵美¹⁾、佐野俊彦¹⁾、佐々木秀悟²⁾、関谷綾子²⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

O35-168 ドルテグラビル(DTG)登場前後の初回 Anti-Retroviral Therapy (ART) 導入患者のバックボーンの使用調査

小林洋平¹⁾、原田幸子¹⁾、遠藤知之²⁾、笠師久美子¹⁾、深井敏隆¹⁾、山田武宏¹⁾、井関 健^{1,3)}

1) 北海道大学病院
2) 北海道大学病院血液内科
3) 北海道大学院薬学研究院

O35-169 DTG+RPV は NRTI-sparing として使用することのできるレジメンの 1 つである

鈴木剛史¹⁾、原 伸子¹⁾、前田卓哉²⁾、藤倉雄二²⁾、川名明彦²⁾、曾根原亘¹⁾

1) 防衛医科大学校病院薬剤部
2) 防衛医科大学校内科学（感染症・呼吸器）

■日時：12月1日（火）9:40～10:40

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F 天空センター）

O36 臨床：抗 HIV 療法 4

座長 藤井 毅

（東京医科大学八王子医療センター感染症科）

猪狩英俊

（千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部）

O36-170 Dolutegravir と Rilpivirine の併用療法の臨床成績

塚田訓久、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、西島 健、青木孝弘、木内 英、渡辺恒二、源河いくみ、本田元人、矢崎博久、照屋勝治、渴永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

(一般演題) 口演

O36-171 Sustained Viral Remission (SVR) 後における CD4 数增加に関する因子の検討

藤井輝久¹⁾、山崎尚也¹⁾、齊藤誠司¹⁾、
小川良子²⁾、池田有里²⁾、木下一枝²⁾、
城下由衣³⁾、藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、
畠井浩子⁴⁾、高田 昇⁵⁾

- 1) 広島大学病院輸血部
- 2) 広島大学病院看護部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 広島文化学園大学看護学部

O36-172 viral RNA および proviral DNA の両者において CCR5 指向性を確認した HIV-1 感染患者に対する Maraviroc+Tenofovir/Emtricitabine による導入療法

小谷 宙^{1,2)}、須藤弘二³⁾、藤原 宏²⁾、
西松直美¹⁾、山口雅也¹⁾、長谷川直樹²⁾、
岩田 敏²⁾、加藤真吾³⁾、根岸昌功⁴⁾、
岡本真一郎^{1,5)}

- 1) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 慶應義塾大学病院医学部微生物・免疫学教室
- 4) ねぎし内科クリニック
- 5) 慶應義塾大学医学部血液内科

O36-173 当院の HIV 感染者における長期合併症の有無と抗 HIV 薬の選択の関連性の検討

渡邊 大^{1,2)}、上平朝子²⁾、山本雄大²⁾、
湯川理己²⁾、上地隆史²⁾、廣田和之²⁾、
伊熊素子²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、
西田恭治²⁾、白阪琢磨^{1,2)}

- 1) 大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 大阪医療センター感染症内科

O36-174 当科で抗 HIV 療法 (ART) を開始し継続中の症例における CD4 陽性細胞数と HIV-1 RNA 量の経過

村松 崇、山元泰之、石尾瑛子、
上久保淑子、大谷眞智子、近澤悠志、
備後真登、横田和久、清田育男、
四本美保子、大瀧 学、尾形亨一、
萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸
東京医科大学病院臨床検査医学科

O36-175 AIDS 合併二次性骨髄異形成症候群に対し、CCR5 阻害剤を併用して造血幹細胞移植を行った 1 例

小谷岳春¹⁾、杉盛千春¹⁾、中谷安宏²⁾

- 1) 石川県立中央病院血液内科
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

■日時：12月1日（火） 10:40～11:30

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

037 臨床：生活習慣2

座長 上平朝子

（大阪医療センター感染症内科）

天野景裕

（東京医科大学医学部医学科臨床検査医学分野）

O37-176 HIV 感染者の動脈硬化に影響を与える因子の検討

南 留美、高濱宗一郎、郭 悠、
小松真梨子、山地由恵、犬丸真司、
長與由紀子、城崎真弓、山本政弘

九州医療センター免疫感染症科

O37-177 2型糖尿病男性患者における HIV と骨代謝異常の検討

関谷綾子¹⁾、片柳直子²⁾、佐々木秀悟¹⁾、
柳澤如樹¹⁾、味澤 篤¹⁾、久保田憲³⁾、
今村顕史¹⁾

- 1) 都立駒込病院感染症科
- 2) 都立駒込病院糖尿病内分泌内科
- 3) 都立桂原病院内科

O37-178 日本人 HIV 感染症患者における cART 導入後の経過期間ごとの骨密度減少の推移

古賀一郎、妹尾和憲、北沢貴利、太田康男
帝京大学医学部内科学講座

O37-179 HIV 感染者における尿中 L-FABP 測定について

宇野健司¹⁾、古西 満²⁾、笠原 敬¹⁾、
米川真輔¹⁾、小川 拓¹⁾、中村ふくみ¹⁾、
今井雄一郎¹⁾、小川吉彦¹⁾、平田一記¹⁾、
平位暢康¹⁾、治田匡平³⁾、青井博志³⁾、
谷口美苗⁴⁾、三笠桂一¹⁾

- 1) 奈良県立医科大学感染症センター
- 2) 奈良県立医科大学附属病院健康管理センター
- 3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 4) 奈良県立医科大学附属病院看護部

(一般演題) 口演

O37-180 HIV 感染者における *Helicobacter pylori* 感染と慢性胃炎

安達英輔¹⁾、大田泰徳²⁾、佐藤秀憲^{1,3)}、
福田直到¹⁾、大龜路生¹⁾、菊地 正¹⁾、
古賀道子¹⁾、松原康朗⁴⁾、立川 愛³⁾、
鯉渕智彦¹⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所附属病院病理部
3) 国立感染症研究所エイズ研究センター
4) 東京大学医科学研究所附属病院先端診療部

■日時：12月1日（火）11:30～12:00

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F 天空センター）

O38 臨床：歯科

座長 宇佐美雄司

（名古屋医療センター歯科口腔外科）

大多和由美

（東京歯科大学口腔健康科学講座）

O38-181 北海道 HIV/AIDS 歯科医療ネットワーク構築事業の概要

佐藤 淳、宮腰昌明、浅香卓哉、北川善政
北海道大学大学院歯学研究科口腔病態学講座口腔診断内科学教室

O38-182 神奈川県 HIV 歯科診療ネットワーク、10年経緯

筑丸 寛¹⁾、上田敦久²⁾、小森康雄³⁾、
泉福英信⁴⁾、竹林早苗⁵⁾、松山奈央⁵⁾、
金子明寛⁶⁾、池田正一⁷⁾、白井 輝⁸⁾、
石ヶ坪良明⁹⁾、藤内 祝¹⁾

1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学
2) 横浜市立大学附属病院リウマチ血液感染症内科
3) 東京医科大学医学部口腔外科学講座
4) 国立感染症研究所細菌第一部
5) 横浜市立大学附属病院看護部
6) 東海大学医学部外科学系口腔外科
7) 神奈川歯科大学附属横浜研修センター総合歯科学講座
8) 聖ヨゼフ病院
9) 横須賀市立市民病院

O38-183 奈良県における HIV 感染者の歯科診療の現状

福辻 智^{1,2)}、今井裕一郎²⁾、柳生貴裕²⁾、
伊地知由賀³⁾、杉山友一⁴⁾、渡邊裕子^{2,6)}、
古西 満⁵⁾、宇野健司⁶⁾、三笠桂一⁶⁾、
桐田忠昭²⁾

1) 田北会田北病院歯科口腔外科
2) 奈良県立医科大学口腔外科学講座
3) 奈良県立医科大学附属病院医療技術センター
4) 奈良県歯科医師会
5) 奈良県立医科大学附属病院健康管理センター
6) 奈良県立医科大学感染症センター

■日時：12月1日（火）14:40～15:10

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F 天空センター）

O39 臨床：悪性腫瘍 1

座長 加藤哲朗

（東京慈恵会医科大学感染制御部）

今村淳治

（名古屋医療センターエイズ治療開発センター）

O39-184 拡大肛門鏡を用いた HIV 陽性者の肛門管上皮内病変の診断と治療

北村 浩^{1,2)}、井戸田一朗²⁾、岡山香里³⁾、
大河戸光章³⁾、佐野彰彦⁴⁾、佐野麻里子⁵⁾、
小林 治⁶⁾

1) 杏林大学医学部腫瘍内科
2) しらかば診療所
3) 杏林大学保健学部病理学教室
4) 杏林大学医学部総合医療学教室感染症科
5) 杏林大学医学部付属病院看護部
6) 杏林大学保健学部看護学科

O39-185 日本人 MSM における肛門・尿路 HPV genotype prevalence および HPV 感染の risk factor に関する検討

八重樫洋¹⁾、重原一慶^{1,2)}、中嶋一史¹⁾、
川口昌平^{1,3)}、井戸田一朗⁴⁾、笹川寿之⁵⁾、
並木幹夫¹⁾

1) 金沢大学医薬保健研究域泌尿器科
2) 石川県立中央病院泌尿器科
3) 富山県立中央病院泌尿器科
4) しらかば診療所
5) 金沢医科大学周産期医学

O39-186 HIV 陽性 MSM における肛門擦過細胞診と Human papillomavirus 検査

大河戸光章¹⁾、岡山香里¹⁾、北村 浩^{2,3)}、
井戸田一朗³⁾

1) 杏林大学保健学部病理学研究室
2) 杏林大学医学部腫瘍内科
3) しらかば診療所

(一般演題) 口演

O39-187 演題取り下げ

■日時：12月1日（火） 15:20～16:10

■会場：第2会場（東京ドームホテル
B1F天空センター）

O40 臨床：悪性腫瘍2

座長 井戸田一朗
(しらかば診療所)

四本美保子
(東京医科大学病院臨床検査医学科)

O40-188 HIV/HHV8 関連キャッスルマン病を発症した2例の長期経過一覧解剖と混合式AIHAを伴った再発例

長尾 梓¹⁾、備後真登³⁾、滝本貴美²⁾、
藤枝由香梨¹⁾、坂本則夫²⁾、大谷眞智子³⁾、
横田和久³⁾、清田育男³⁾、四本美保子³⁾、
福武勝幸³⁾、花房秀次¹⁾

- 1) 萩窓病院血液科
- 2) 萩窓病院検査科
- 3) 東京医科大学病院臨床検査医学科

O40-189 ドキソルビシン塩酸塩リポソーム注射剤（ドキシル[®]）を47回行った難治性の力ポジ肉腫症例

横田和久¹⁾、大谷眞智子¹⁾、上久保淑子¹⁾、
一木昭人¹⁾、近澤悠志¹⁾、備後真登¹⁾、
村松 崇¹⁾、清田育男²⁾、四本美保子¹⁾、
萩原 剛¹⁾、鈴木隆史¹⁾、山元泰之¹⁾、
天野景裕¹⁾、福武勝幸¹⁾

- 1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 2) 東京医科大学茨城医療センター内科

O40-190 急激な腹水貯留で発症したHIV感染合併の原発性体腔液リンパ腫の1例

斎藤千鶴¹⁾、小谷岳春¹⁾、中谷安宏²⁾

- 1) 石川県立中央病院血液内科
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

O40-191 非AIDS指標悪性腫瘍及び重複癌の後方視的研究

古賀道子^{1,2)}、福田直到²⁾、大龜路生¹⁾、
佐藤秀憲¹⁾、菊地 正^{1,2)}、安達英輔²⁾、
鯉渕智彦²⁾

- 1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O40-192 腫瘍組織から産生されるIL-6・G-CSFが制御困難な発熱・白血球增多の原因と考えられたHIV感染症合併肺扁平上皮癌の一例

南宮 湖¹⁾、正木克宜¹⁾、藤原 宏²⁾、
小谷 宙³⁾、西松直美³⁾、戸蒔裕子⁴⁾、
加藤真吾⁵⁾、岩田 敏⁶⁾、長谷川直樹²⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 4) 慶應義塾大学病院看護部
- 5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 6) 慶應義塾大学医学部感染症学教室

■日時：12月1日（火） 8:40～9:30

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

O41 社会：政策2

座長 山本政弘
(九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター)

大木幸子
(杏林大学保健学部看護学科地域看護学研究室)

O41-193 HIV研修参加薬剤師のグループディスカッション形式症例検討における意識変化に関する調査

阿部憲介¹⁾、佐藤麻希²⁾、國本雄介³⁾、
神尾咲留未¹⁾、小山田光孝¹⁾、塚本琢也¹⁾、
鈴木智子^{1,4)}、佐々木晃子¹⁾、伊藤ひとみ¹⁾、
佐藤 功^{1,5)}、伊藤俊広¹⁾

- 1) 仙台医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院
- 3) 札幌医科大学附属病院
- 4) エイズ予防財団
- 5) 医徳会真壁病院

O41-194 HIV/AIDS患者の医療費助成～市立函館病院からの報告～

片井麻美¹⁾、鈴木春美²⁾、堤 豊¹⁾

- 1) 市立函館病院
- 2) (株)ニチイ学館

(一般演題) 口演

- 041-195 長野県中信地区における HIV 感染症診断にいたるまでの病歴の検討
牛木淳人¹⁾、金井信一郎²⁾、北野喜良³⁾、
小林裕子⁴⁾、小堀福子⁴⁾、小林和代⁵⁾、
長谷川直子⁵⁾、山本理沙⁵⁾、柘植洋子⁶⁾、
土屋広行⁷⁾、山崎明美⁸⁾、安尾将法¹⁾、
山本 洋¹⁾、花岡正幸¹⁾
1) 信州大学医学部内科学第一教室
2) 信州大学医学部附属病院感染制御室
3) まつもと医療センター血液内科
4) 信州大学医学部附属病院医療福祉支援センター
5) まつもと医療センター地域医療連携室
6) まつもと医療センター看護部
7) 信州大学医学部附属病院薬剤部
8) 信州大学医学部保健学科看護学専攻広域看護学教室
- 041-196 地域行政と連携した慢性疾患管理システムの構築に関する検討—HIV 陽性者支援における行政サービス活用の効果—
羽柴知恵子^{1,2)}、伊藤杏奈¹⁾、浅海里帆²⁾、
蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、横幕能行²⁾
1) 名古屋医療センター看護部
2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
3) 名古屋医療センター感染・免疫研究部
- 041-197 歯科診療ネットワーク構築における曝露時予防薬準備の効果について—配布モデルによる検討—
宇佐美雄司、菱田純代、總山貴子
名古屋医療センター歯科口腔外科
- 042-199 HIV 医療における心理面接の機能—家族関係の改善により受療行動の安定を図った事例—
小松賢亮¹⁾、加藤 温^{2,3)}、塚田訓久¹⁾、
渡邊愛祈¹⁾、仲里 愛^{1,4)}、谷口 紅¹⁾、
杉野祐子¹⁾、渕永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
今井公文³⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究・開発センター
2) 国立国際医療研究センター病院総合診療科
3) 国立国際医療研究センター病院精神科
4) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 042-200 HIV 感染者における知的機能と ASD 傾向との関連
松岡亜由子¹⁾、石原真理¹⁾、森 祐子^{1,2)}、
羽柴知恵子^{1,3)}、蜂谷敦子⁴⁾、岩谷靖雅⁴⁾、
横幕能行¹⁾
1) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
2) エイズ予防財団
3) 名古屋医療センター看護部
4) 名古屋医療センター感染・免疫研究部
- 042-201 抑うつ傾向のある HIV 感染症患者に対する神経心理学的検査を活用した症状改善とアドヒアランス向上への支援
阪木淳子、辻麻理子、城崎真弓、
長與由紀子、郭 悠、高濱宗一郎、
南 留美、山本政弘
九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
- 042-202 HIV 陽性者における自殺に関する調査
石原真理¹⁾、羽柴知恵子¹⁾、松岡亜由子¹⁾、
森 祐子^{1,2)}、蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、
横幕能行¹⁾
1) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
2) エイズ予防財団リサーチレジデント
3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

■日時：12月1日（火）9:30～10:20

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F 天空サウス）

042 社会：カウンセリング2

座長 山中京子
(大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類)
高田知恵子
(秋田大学教育文化学部)

- 042-198 HIV 陽性者のメンタルヘルスと心理的特性の関連性に関する研究
安尾利彦¹⁾、仲倉高広²⁾、下司有加³⁾、
中濱智子³⁾、東 政美³⁾、鈴木成子³⁾、
白阪琢磨⁴⁾
1) 大阪医療センター臨床心理室
2) 京都大学大学院教育学研究科
3) 大阪医療センター看護部
4) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

(一般演題) 口演

■日時：12月1日（火） 10:20～11:10
■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

043 社会：MSM2

座長 日高庸晴
(宝塚大学看護学部)

井上洋士
(放送大学)

043-203 ゲイ・バイセクシャル男性におけるHIV検査受検経験及び関連する要因

細井舞子¹⁾、安井典子¹⁾、青木理恵¹⁾、
安保貴行¹⁾、松村直樹¹⁾、奥町彰礼¹⁾、
廣川秀徹¹⁾、半羽宏之¹⁾、松本健二¹⁾、
後藤大輔²⁾、宮田りりい²⁾、町登志雄³⁾、
塩野徳史⁴⁾

- 1) 大阪市保健所感染症対策課
- 2) MASH大阪
- 3) エイズ予防財団
- 4) 名古屋市立大学看護学部

043-204 コミュニティセンター dista におけるHIV検査の意義

後藤大輔^{1,2)}、塩野徳史^{2,3)}、町登志雄^{1,2)}、
宮田りりい^{1,2)}、伴仲昭彦²⁾、鬼塚哲郎^{2,4)}、
安井典子⁵⁾、細井舞子⁵⁾、半羽宏之⁵⁾

- 1) エイズ予防財団
- 2) MASH大阪
- 3) 名古屋市立大学看護学部
- 4) 京都産業大学
- 5) 大阪市保健所感染症対策課

043-205 コミュニティセンター dista 来場者の特性

町登志雄^{1,2)}、後藤大輔^{1,2)}、宮田りりい^{1,2)}、
伴仲昭彦²⁾、鬼塚哲郎^{2,3)}、塩野徳史^{2,4)}、
安井典子⁵⁾、細井舞子⁵⁾、半羽宏之⁵⁾

- 1) エイズ予防財団
- 2) MASH大阪
- 3) 京都産業大学
- 4) 名古屋市立大学
- 5) 大阪市保健所感染症対策課

043-206 コミュニティセンター dista における中高年層 MSM 来場者誘致プログラム「南界堂茶会」の効果評価

伴仲昭彦¹⁾、鬼塚哲郎^{1,2)}、大畠泰次郎¹⁾、
塩野徳史^{1,3)}、町登志雄^{1,4)}、後藤大輔^{1,4)}

- 1) MASH大阪
- 2) 京都産業大学
- 3) 名古屋市立大学看護学部
- 4) エイズ予防財団

043-207 近畿地域在住の MSM (Men who have sex with men) における初性交時の予防行動に関連した要因—10年間の変化—

塩野徳史¹⁾、後藤大輔^{2,3)}、町登志雄^{2,3)}、
宮田りりい^{2,3)}、伴仲昭彦²⁾、鬼塚哲郎^{2,4)}、
金子典代¹⁾、市川誠一⁵⁾

- 1) 名古屋市立大学看護学部
- 2) MASH大阪
- 3) エイズ予防財団
- 4) 京都産業大学
- 5) 人間環境大学大学院看護学研究科

■日時：12月1日（火） 11:10～12:00

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

044 社会：ソーシャルワーク

座長 藏田 裕
(新潟大学医歯学総合病院)

富田健一
(北海道大学病院相談室)

044-208 HIV診療委員会におけるソーシャルワーカーの役割に関する考察

柳田月美¹⁾、豊田恵太¹⁾、趙 理明¹⁾、
松永伸一¹⁾、土谷良樹¹⁾、井川千恵子²⁾、
紅田慶子²⁾、角南直美³⁾

- 1) 東葛病院
- 2) 東葛病院付属診療所
- 3) わかば薬局

044-209 精神科入院を有するHIV陽性患者の受療支援を通じた考察と今後の展望

木村絵梨奈¹⁾、佐俣智子¹⁾、山田拓哉¹⁾、
影山美紗子¹⁾、西川明里¹⁾、高橋紀貴¹⁾、
小林里沙¹⁾、掛川瑠子¹⁾、佐藤拓海¹⁾、
飯塚真由美¹⁾、篠原純史¹⁾、合田 史²⁾、
佐藤正通^{1,2)}

- 1) 高崎総合医療センター地域医療支援・連携センター部
- 2) 高崎総合医療センター総合診療科

(一般演題) 口演

- 044-210 介護を要する HIV 陽性者の施設入所困難
事例に学ぶ～ソーシャルワーカーの視点
から～
石郷岡美穂¹⁾、宮城京子²⁾、前田サオリ²⁾、
仲村秀太³⁾、上 薫³⁾、諸見牧子⁴⁾、
辺土名優美子⁵⁾、大城市子⁵⁾、健山正男³⁾、
藤田次郎^{1,3)}
1) 球大学医学部附属病院医療福祉支援センター
2) 同大学医学部附属病院看護部
3) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座
4) 同大学医学部附属病院薬剤部
5) 沖縄県HIV派遣カウンセラー
- 044-211 HIV 多職種カンファレンスの取り組み
佐藤かおり、高木雅敏、塘田貴代美、
井原国代
熊本大学医学部附属病院
- 044-212 北海道における HIV 陽性者への福祉サー
ビスネットワーク構築
富田健一¹⁾、白坂るみ²⁾、遠藤知之³⁾、
渡部恵子^{1,4)}、武内阿味^{1,5)}、坂本玲子^{1,2)}、
センテノ田村恵子^{1,5)}、石田陽子¹⁾、
豊嶋崇徳
1) 北海道大学病院相談室
2) はばたき福祉事業団
3) 北海道大学病院血液内科
4) 北海道大学病院看護部
5) エイズ予防財団

■日時：12月1日（火） 14:40～15:20

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

045 社会：滞在外国人

座長 仲尾唯治
(山梨学院大学経営情報学部)
青木理恵子
(CHARM)

- 045-213 新エイズ予防指針に基づく全国自治体の
在日外国人対応に関する認識と現状（第
2報）
仲尾唯治¹⁾、沢田貴志²⁾、山本裕子³⁾
1) 山梨学院大学経営情報学部
2) 港町診療所
3) シェア=国際保健協力市民の会

- 045-214 当院における過去 15 年間の HIV 陽性外
国人の動向と支援の検討

関矢早苗¹⁾、小嶋道子²⁾、今村遼子²⁾、
竹田眞澄²⁾、菊池由生子²⁾、柳澤如樹³⁾、
菅沼明彦³⁾、味澤 篤⁴⁾、今村顕史³⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部
2) 同医療相談係
3) 同感染症科
4) 東京都保健医療公社豊島病院

- 045-215 当院における外国籍 HIV 陽性者について
の検討～22 年間の変遷～

白野倫徳¹⁾、笠松 悠¹⁾、森村 歩¹⁾、
飯田 康¹⁾、来住知美¹⁾、豊島裕子²⁾、
市田裕之³⁾、瀧浦その子⁴⁾、大石真綾⁴⁾、
後藤哲志¹⁾

- 1) 大阪市立総合医療センター感染症内科
2) 大阪市立総合医療センター看護部
3) 大阪市立総合医療センター薬剤部
4) 大阪市立総合医療センター患者支援センター

- 045-216 HIV 陽性の滞日難民認定申請者へのソ
シャルワーク

古藤吾郎¹⁾、櫻井美香¹⁾、田多 晋¹⁾、
土岐茂里¹⁾、松岡佳奈子²⁾

- 1) 認定NPO法人難民支援協会
2) 難民研究フォーラム

■日時：12月1日（火） 15:20～16:10

■会場：第3会場（東京ドームホテル
B1F天空サウス）

046 社会：感染予防

座長 塩野徳史
(名古屋市立大学看護学部)
中西好子
(葛飾区健康部長（保健所長兼務）)

- 046-217 青少年向けエイズ啓発冊子「エイズのは
なし」の評価

細井舞子、安井典子、青木理恵、
安保貴行、松村直樹、奥町彰礼、
廣川秀徹、半羽宏之、松本健二

大阪市保健所感染症対策課

- 046-218 HIV 陽性者に対する態度構造につい
て—感染経路に着目して—

飯田昌子

鹿児島大学法文学部

(一般演題) 口演

- 046-219 10代20代対象の心に響く性教育講演活動
星野貴泰
高崎総合医療センター
- 046-220 エイズの啓発活動 ATACinNARA の15年目の啓発活動
畠山雅行^{1,2,3)}
1) 東京都結核予防会
2) 奈良産業保健総合支援センター
3) 労働衛生コンサルタントオフィス畠山
- 046-221 金銭的・物的インセンティブに頼らないモビライザーの育成—ケニア国ウゲニヤ県におけるPMTCT啓発事業(JICA草の根技術協力事業)の事例から—
巣内秀太郎、門田瑠衣子
エイズ孤児支援NGO・PLAS
- 日時：12月1日（火）8:40～9:30
■会場：第4会場（東京ドームホテルB1Fシンシアノース）
- 047 要望演題：薬害・血友病**
- 座長 若林チヒロ
(埼玉県立大学健康開発学科)
藤原良次
(りょうちゃんず)
-
- 047-222 全国のHIV感染血友病等患者の健康実態・日常生活の実態調査と支援に関する研究（第一報）～支援の概要と課題
柿沼章子、岩野友里、久地井寿哉、大平勝美
はばたき福祉事業団
- 047-223 全国のHIV感染血友病等患者の健康実態・日常生活の実態調査と支援に関する研究（第二報）～日常生活困難事例の分析
岩野友里、柿沼章子、久地井寿哉、大平勝美
はばたき福祉事業団
- 047-224 HIV感染血友病患者の長期療養に向けた支援～情報収集と療養支援アセスメントシートの検討から～
鈴木ひとみ¹⁾、大金美和¹⁾、小山美紀¹⁾、阿部直美¹⁾、谷口 紅¹⁾、木下真里¹⁾、杉野祐子¹⁾、池田和子¹⁾、久地井寿哉²⁾、岩野友里²⁾、柿沼章子²⁾、大平勝美²⁾、潟永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2) はばたき福祉事業団
- 047-225 HIV感染血友病患者の療養先検討に向けた支援プロトコルの作成
大金美和¹⁾、小山美紀¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、阿部直美¹⁾、木下真里¹⁾、谷口 紅¹⁾、杉野祐子¹⁾、岩野友里²⁾、久地井寿哉²⁾、柿沼章子²⁾、大平勝美²⁾、池田和子¹⁾、潟永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター
2) はばたき福祉事業団
- 047-226 薬害HIV遺族相談事業「日々についてのおたずね」の活動報告—その1 活動経緯と実施状況—
西川歩美^{1,2,3)}、古谷野淳子^{3,4)}、矢永由里子^{3,5)}、鈴木葉子^{3,6)}、紅林洋子^{3,7)}、村上典子^{3,8)}
1) 大阪医療センター
2) エイズ予防財団
3) ネットワーク医療と人権専門家相談員
4) 新潟大学医歯学総合病院
5) 慶應大学医学部感染制御センター
6) 滋賀県健康医療福祉部
7) 沼津市立病院
8) 神戸赤十字病院

(一般演題) 口演

■日時：12月1日（火） 9:30～10:10
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

048 臨床：母子感染 1

座長 喜多恒和
(奈良県総合医療センター産婦人科)

吉野直人
(岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野)

048-227 HIV 感染児における神経学的予後の検討

田中瑞恵¹⁾、飯田敏晴²⁾、川崎洋平³⁾、
外川正生⁴⁾、塚原優己⁴⁾、吉野直人⁴⁾、
喜多恒和⁴⁾、佐藤典子¹⁾、五石圭司¹⁾、
細川真一¹⁾、山中純子¹⁾、瓜生英子¹⁾、
山田 浩³⁾、菊池 嘉⁵⁾、岡 慎一⁵⁾、
松下竹次¹⁾、七野浩之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 山梨英和大学人間文化学部
- 3) 静岡県立大学薬学部薬学科医薬品情報解析学分野
- 4) エイズ対策事業「HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班
- 5) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

048-228 新生児におけるAZTおよびAZTリン酸化物濃度と副作用の関係

木内 英¹⁾、加藤真吾²⁾、細川真一³⁾、
田中瑞恵³⁾、中西美紗緒⁴⁾、定月みゆき⁴⁾、
湯永博之¹⁾、矢野 哲⁴⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室
- 3) 国立国際医療研究センター病院小児科
- 4) 国立国際医療研究センター病院産婦人科

048-229 HIV 感染判明後の妊娠における治療と転帰の現状

杉浦 敦^{1,2)}、市田宏司²⁾、石橋理子²⁾、
中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、松田秀雄²⁾、
高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、小林裕幸²⁾、
佐久本薰²⁾、太田 寛²⁾、藤田 紗²⁾、
高橋尚子²⁾、吉野直人²⁾、田中瑞恵²⁾、
外川正生²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 奈良県総合医療センター
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

048-230 キャリーオーバーしたHIV母子感染患者における問題点
東出侑子、酒井好幸、依田弥奈子、
堤 裕幸
札幌医科大学小児科学講座

■日時：12月1日（火） 10:10～10:50
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

049 臨床：母子感染 2

座長 外川正生
(大阪市立総合医療センター小児総合診療科・小児救急科)
久慈直昭
(東京医科大学病院産科・婦人科)

049-231 母親が妊娠、HIV 感染とともに自覚のないまま墜落分娩に至ったものの児へのHIV 感染を回避し得た一例

古賀一郎、妹尾和憲、北沢貴利、太田康男
帝京大学医学部内科学講座

049-232 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の推移と検査未実施事由

吉野直人^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、高橋尚子^{1,2)}、
伊藤由子²⁾、杉山 徹²⁾、田中瑞恵²⁾、
谷口晴記²⁾、蓮尾泰之²⁾、稻葉憲之²⁾、
和田裕一²⁾、塚原優己²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

049-233 ACCにおけるHIV 感染合併妊娠・出産事例の社会・経済的背景の検討

木下真里、小山美紀、阿部直美、
鈴木ひとみ、杉野祐子、大金美和、
池田和子、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

049-234 妊娠におけるラルテグラビル使用経験：症例報告

八板謙一郎^{1,3)}、石橋幹雄²⁾、三浦美穂³⁾、
富永正樹⁴⁾

- 1) 久留米大学病院感染制御科
- 2) 久留米大学病院薬剤部
- 3) 久留米大学病院感染制御部
- 4) 久留米大学呼吸器・神経・膠原病内科

(一般演題) 口演

■日時：12月1日（火） 10:50～11:30
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

050 臨床：看護3

座長 長與由紀子
(NHO 九州医療センター感染対策室)

杉野祐子
(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

050-235 HIV関連悪性リンパ腫患者の看護—患者の治療意欲を支える援助—

原嶋夏美、及川真理子、有馬美奈
がん・感染症センター都立駒込病院

050-236 ボディイメージの変化に不安を抱えた力
ポジ肉腫患者に対する関わり

柳沼久美子
がん感染症センター都立駒込病院

050-237 HIV感染症に合併した進行性多巣性白質脳症患者のスピリチュアルペイン—村田理論による一考察—

川又美波、有馬美奈
がん・感染症センター都立駒込病院

050-238 HIV関連Bukittリンパ腫、PML疑い患者の在宅療養支援への取り組み

宮城京子¹⁾、前田サオリ¹⁾、石郷岡美穂¹⁾、
大城市子¹⁾、辻土名優美子¹⁾、上 薫²⁾、
諸見牧子¹⁾、仲村秀太²⁾、健山正男²⁾、
藤田次郎²⁾

1) 琉球大学医学部附属病院
2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学

■日時：12月1日（火） 11:30～12:00
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

051 臨床：看護4

座長 川口 玲
(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

竹林早苗
(横浜市立大学附属病院看護部)

051-239 メンタルヘルスに問題のある患者の受診支援を通して

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、健山正男²⁾、
仲村秀太²⁾、小橋川文江¹⁾、諸見牧子¹⁾、
石郷岡美穂¹⁾、辻土名優美子¹⁾、
大城市子¹⁾、上 薫¹⁾

1) 琉球大学医学部附属病院
2) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座

051-240 死亡退院時の他者へのHIV打ち明け

石井祥子¹⁾、宮村麻理²⁾、小宮山優佳²⁾、
服部久恵²⁾、池田和子³⁾、照屋勝治³⁾、
菊池 嘉³⁾、岡 慎一³⁾

1) 国立国際医療研究センター病院感染症看護専門看護師
2) 国立国際医療研究センター病院12階東病棟
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

051-241 当院通院中の65歳以上のHIV陽性者の療養生活上の課題

関矢早苗¹⁾、原嶋夏美¹⁾、小嶋道子²⁾、
今村遼子²⁾、竹田眞澄²⁾、菊池由生子²⁾、
佐々木秀悟³⁾、柳澤如樹³⁾、菅沼明彦³⁾、
今村顕史³⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部
2) 同医療相談係
3) 同感染症科

(一般演題) 口演

■日時：12月1日（火） 14:40～15:30
■会場：第4会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアノース）

052 臨床：日和見感染2

座長 堀場昌英
(東埼玉病院呼吸器科)
永井英明
(東京病院呼吸器センター)

052-242 粟粒結核、結核性リンパ節炎、頭蓋内結核腫を合併したHIV感染症の1例

田中 勝¹⁾、関谷綾子¹⁾、池内和彦¹⁾、
福島一彰¹⁾、錦 信吾¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、
関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院
2) 同臨床検査科

052-243 非結核性抗酸菌性脊椎炎を呈したHIV感染者の一例

高濱宗一郎¹⁾、郭 悠¹⁾、南 留美¹⁾、
山地由恵¹⁾、犬丸真司¹⁾、長與由紀子¹⁾、
城崎真弓¹⁾、山本政弘¹⁾、宮崎 清²⁾、
小原伸夫²⁾、宮崎泰彦³⁾

1) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
2) 九州医療センター整形外科
3) 大分県立病院輸血部

052-244 抗HIV療法時代のHIV合併播種性非結核性抗酸菌症—無菌部位からの培養陽性例の検討—

小林鉄郎、西島 健、照屋勝治、
上村 悠、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、青木孝弘、渡辺恒二、
木内 英、本田元人、田沼順子、
塚田訓久、潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターEIZ治療・研究開発センター

052-245 ニューモシスチス肺炎を合併したHIV感染症例における難治化の要因

堀場昌英¹⁾、廣瀬友城¹⁾、森田暁壯¹⁾、
中野滋文¹⁾、諸井文子¹⁾、二見仁康¹⁾、
高杉知明¹⁾、桑田加奈子²⁾、鈴木清美²⁾

1) 東埼玉病院呼吸器科
2) 東埼玉病院看護部

052-246 ニューモシスチス肺炎の迅速診断：うがい液を用いて行う迅速遺伝子診断の展望

黒川敦志¹⁾、河野修一¹⁾、今井一男¹⁾、
田村信介²⁾、前田卓哉¹⁾、藤倉雄二¹⁾、
川名明彦¹⁾

1) 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科
2) 防衛医科大学校小児科

■日時：12月1日（火） 15:30～16:10

■会場：第4会場（東京ドームホテル B1Fシンシアノース）

053 臨床：日和見感染3

座長 南 留美
(九州医療センター免疫感染症科)
田邊嘉也

(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

053-247 HIV感染者における血中EBウイルス量の動態に関する検討

村田昌之¹⁾、加勢田富士子¹⁾、志水元洋¹⁾、
迎 はる¹⁾、豊田一弘¹⁾、小川栄一¹⁾、
江藤義隆¹⁾、古庄憲浩¹⁾、林 純²⁾

1) 九州大学病院総合診療科
2) 原土井病院九州総合診療センター

053-248 HIV-1感染者でのサイトメガロウイルス感染症における血中抗原価の有用性の検討

大谷眞智子、村松 崇、横田和久、
備後真登、四本美保子、上久保淑子、
近澤悠志、一木昭人、清田育男、
萩原 剛、山元泰之、鈴木隆史、
天野景裕、福武勝幸

東京医科大学臨床検査医学科

053-249 職員に対しての抗HIV薬による曝露後予防内服についての検討

渡邊珠代^{1,2)}、石原正志^{1,3)}、林 寛子³⁾、
松岡梨恵³⁾、鶴見広美¹⁾、鶴見 寿^{1,4)}、
村上啓雄²⁾

1) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
2) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター
3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
4) 岐阜大学医学部附属病院血液内科

(一般演題) 口演

- 053-250 血液曝露時の HIV 迅速検査で偽陽性を示した 2 例の検討
山内 恵¹⁾、伊佐和貴¹⁾、石原美紀¹⁾、
島袋未美¹⁾、宮城京子²⁾、前田サオリ²⁾、
健山正男³⁾、藤田次郎³⁾、前田士郎¹⁾
1) 琉球大学医学部附属病院検査・輸血部
2) 琉球大学医学部附属病院看護部
3) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器
内科学
- 054-254 アタザナビルからドルテグラビルへ変更し約 1 年後に尿路結石を再発した症例
備後真登¹⁾、石尾瑛子¹⁾、大谷眞智子¹⁾、
上久保淑子¹⁾、一木昭人¹⁾、近澤悠志¹⁾、
横田和久¹⁾、村松 崇¹⁾、四本美保子¹⁾、
萩原 剛¹⁾、山元泰之¹⁾、鈴木隆史¹⁾、
天野景裕^{1,2)}、福武勝幸^{1,2)}
1) 東京医科大学臨床検査医学分野
2) 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座

■日時：12月1日（火）8:40～9:40
■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1F シンシアサウス）

054 要望演題：症例報告

座長 中田浩智
(熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部)
宇野健司
(奈良県立医科大学感染症センター)

- 054-251 急性 HIV 感染に伴う血球貪食症候群に対して DTG+TDF/FTC による ART が奏功した HIV 感染症の 1 例
小川孔幸¹⁾、柳澤邦雄¹⁾、石崎卓馬¹⁾、
三原正大¹⁾、内藤千晶¹⁾、半田 寛¹⁾、
石崎芳美²⁾、兒玉智子³⁾、合田 史⁴⁾、
内海英貴⁵⁾、野島美久¹⁾
1) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科
2) 群馬大学医学部附属病院看護部
3) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
4) 高崎総合医療センター総合診療科
5) 社団日高会白根クリニック

- 054-252 経腸栄養下 DRV 投与が有効であった食道瘻を伴う粟粒結核併合 AIDS の一例
水野菜穂子¹⁾、小林正行²⁾、原島伸一³⁾、
近藤祥司³⁾、尾崎淳子⁴⁾、辻 秀美¹⁾、
幣憲一郎¹⁾、稻垣暢也³⁾、高折晃史²⁾
1) 京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部
2) 同血液・腫瘍内科
3) 同糖尿病・内分泌・栄養内科
4) 同薬剤部

- 054-253 Ritonavir-boosted PI から Dolutegravir へのキードラッグ変更により抗精神病薬の調整に難渋した症例
佐藤麻希¹⁾、早川史織¹⁾、増田純一¹⁾、
柳川泰昭²⁾、和泉啓司郎¹⁾、菊池 嘉²⁾、
岡 慎一²⁾
1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

- 054-255 AIDS に合併する進行性多巣性白質脳症に対するメフロキン塩酸塩の効果に関する検討
長 盛親、前田卓哉、三木田馨、
藤倉雄二、川名明彦
防衛医科大学校感染症・呼吸器内科
- 054-256 脾帯血移植により良好な経過が得られた HIV 関連非ホジキンリンパ腫の 1 例
河合 伸¹⁾、佐野彰彦¹⁾、佐野麻里子²⁾、
佐藤範英³⁾、高山信之³⁾
1) 杏林大学医学部総合医療学教室感染症科
2) 杏林大学医学部附属病院看護部
3) 杏林大学医学部第二内科学教室血液内科

■日時：12月1日（火）9:40～10:20
■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1F シンシアサウス）

055 要望演題：HAND1

座長 高田清式
(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)
遠藤知之
(北海道大学病院血液内科)

- 055-257 FDG PET による HIV 陽性患者の脳糖代謝変化
諸岡 都¹⁾、田沼順子²⁾、石井賢二³⁾、
窪田和雄¹⁾、小松賢亮²⁾、仲里 愛²⁾、
渡辺愛祈²⁾、菊池 嘉²⁾、亀山征史¹⁾、
南本亮吾¹⁾、野口智幸⁴⁾、塚田訓久²⁾、
湯永博之²⁾、照屋勝治²⁾、矢崎博久²⁾、
本田元人²⁾、青木孝弘²⁾、木内 英²⁾、
西島 健²⁾、小形幹子²⁾、岡 慎一²⁾
1) 国立国際医療研究センター放射線核医学科
2) 国立国際医療研究センターACC
3) 東京都健康長寿医療センター
4) 国立国際医療研究センター放射線診断科

(一般演題) 口演

055-258	HIV 感染者における頭部 MRI スクリーニング検査の有用性に関する検討 錦 信吾 ¹⁾ 、佐々木秀悟 ¹⁾ 、関谷紀貴 ²⁾ 、柳澤如樹 ¹⁾ 、菅沼明彦 ¹⁾ 、味澤 篤 ³⁾ 、今村顕史 ¹⁾ 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科 3) 東京都保健医療公社豊島病院	056-262	HAD2 症例を通してみる地域医療の役割 土谷良樹、武田悟秋 東葛病院総合内科
055-259	HIV 関連神経認知障害(HAND)における髄液中のネオブテリン量と ART 後の変化 高田清式 ¹⁾ 、山之内純 ²⁾ 、末盛浩一郎 ²⁾ 、村上雄一 ²⁾ 、中西英元 ²⁾ 、安川正貴 ²⁾ 、中尾 綾 ²⁾ 、辻井智明 ³⁾ 、西川典子 ³⁾ 、木村博史 ⁴⁾ 、井門敬子 ⁴⁾ 、藤原光子 ⁵⁾ 、中村真理子 ⁵⁾ 、小野恵子 ⁶⁾ 、若松 綾 ⁶⁾ 1) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター 2) 愛媛大学医学部附属病院第一内科 3) 愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科 4) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 5) 愛媛大学医学部附属病院看護部 6) 愛媛大学医学部附属病院総合医療サポートセンター	056-263	HIV 母子感染 6 例における認知機能の特徴 飯田敏晴 ^{1,5,6)} 、田中瑞恵 ^{2,6)} 、小松賢亮 ³⁾ 、佐々木真里 ²⁾ 、川崎洋平 ⁴⁾ 、菊池 嘉 ³⁾ 、岡 慎一 ³⁾ 、七野浩之 ²⁾ 1) 山梨英和大学人間文化学部人間文化学科 2) 国立国際医療研究センター病院小児科 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 4) 静岡県立大学薬学部薬学科 5) 国立国際医療研究センター病院精神科 6) エイズ対策実用化研究事業「HIV母子感染児における神経学的予後についての研究」班
055-260	miR125b の HIV 感染患者における CNS マーカーとしての可能性 郭 悠 ^{1,2)} 、小松真梨子 ²⁾ 、辻麻理子 ²⁾ 、阪木淳子 ²⁾ 、曾我真千恵 ²⁾ 、犬丸真司 ²⁾ 、山地由恵 ²⁾ 、高濱宗一郎 ^{1,2)} 、南 留美 ^{1,2)} 、山本政弘 ^{1,2)} 1) 九州医療センター免疫感染症科 2) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター	056-264	HIV 関連認知障害(HAND)症例への神経心理学的検査と支援 城田陽子 ¹⁾ 、柳澤邦雄 ²⁾ 、小川孔幸 ²⁾ 、半田 寛 ²⁾ 、石崎芳美 ³⁾ 、兒玉智子 ⁴⁾ 、合田 史 ⁵⁾ 、内海英貴 ⁶⁾ 、野島美久 ²⁾ 1) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター 2) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究生体統御内科 3) 群馬大学医学部附属病院看護部 4) 群馬大学医学部附属病院薬剤部 5) 高崎総合医療センター総合診療科 6) 社団日高会白根クリニック

■日時：12月1日（火）10:20～11:00
■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアサウス）

056 要望演題：HAND2

座長 木内 英
(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)
辻麻理子
(九州医療センター)

056-261 認知機能低下から HAND を疑い検査を進め、その原因が判明した HIV 感染例
齊藤誠司^{1,3)}、土肥栄祐²⁾、飯塚暁子³⁾、木梨貴博³⁾、濱野有里³⁾、大山紗よ子³⁾、坂田達朗³⁾

- 1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室
- 2) 県立広島病院神経内科
- 3) 福山医療センターHIV診療科

■日時：12月1日（火）11:00～12:00

■会場：第5会場（東京ドームホテル
B1Fシンシアサウス）

057 要望演題：検査・相談体制

座長 吉村和久
(国立感染症研究所エイズ研究センター)
生島 嗣
(ぶれいす東京)

057-265 東京都内公的検査機関における HIV 陽性例の解析（2007-2014年）

長島真美、根岸あかね、北村有里恵、吉田 熱、原田幸子、猪又英美子、秋場哲哉、貞升健志

東京都健康安全研究センター微生物部

(一般演題) 口演

- 057-266 新規 HIV 感染者における年次別感染初期割合の推移
近藤真規子¹⁾、佐野貴子¹⁾、井戸田一朗²⁾、
山中 晃³⁾、川畠拓也⁴⁾、森 治代⁴⁾、
岩室紳也⁵⁾、吉村幸浩⁶⁾、立川夏夫⁶⁾、
今井光信⁷⁾、加藤真吾⁸⁾
1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) しらかば診療所
3) 新宿東口クリニック
4) 大阪府立公衆衛生研究所
5) 厚木市立病院
6) 横浜市立市民病院
7) 田園調布学園大学
8) 慶應義塾大学医学部
- 057-267 民間検査センターにおける HIV 検査の実施状況に関する調査
佐野貴子¹⁾、近藤真規子¹⁾、須藤弘二²⁾、
今井光信³⁾、加藤真吾²⁾
1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
3) 田園調布学園大学
- 057-268 MSM 向け HIV 即日抗体検査における急性感染期の抗体陰性例の検出
川畠拓也¹⁾、森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、
駒野 淳²⁾、古林敬一³⁾、岩佐 厚⁴⁾、
田端運久⁵⁾、亀岡 博⁶⁾、中村幸生⁷⁾、
杉本賢治⁸⁾、近藤雅彦⁹⁾、高田昌彦¹⁰⁾、
菅野展史¹¹⁾、塩野徳史^{12,13)}、柴田敏之¹⁴⁾
1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2) 名古屋医療センター
3) そねざき古林診療所
4) 岩佐クリニック
5) 田端医院
6) 亀岡クリニック
7) 中村クリニック
8) 京橋杉本クリニック
9) 近藤クリニック
10) 高田泌尿器科
11) 菅野クリニック
12) MASH大阪
13) 名古屋市立大看護学部
14) 大阪府健康医療部医療対策課
- 057-269 HIV 検査相談の研修をデザインするということ—その 2 仕上げの試行と総括について—
矢永由里子¹⁾、渡久山朝裕²⁾、井村弘子³⁾、
紅林洋子⁴⁾、平塚信子⁵⁾、光畠知佐子⁶⁾、
平良勝也⁷⁾、長谷川直樹¹⁾、岩田 敏⁸⁾、
加藤真吾⁹⁾
1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
2) 沖縄県立看護大学
3) 沖縄国際大学
4) 沼津市立病院
5) 滋賀県健康医療福祉部
6) 高知大学病院
7) 沖縄県保健医療部
8) 慶應義塾大学医学部感染症学教室
9) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 057-270 HIV 検査を受検した知識・性行動・相談ニーズの調査から見えてきたこと
嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、河口和也²⁾、
高嶋能文³⁾、飯塚信吾¹⁾、太田昌二¹⁾、
新美 広¹⁾、橋本広志¹⁾
1) 動くゲイとレズビアンの会（アカー）
2) 広島修道大学
3) 社団めぐみ会自由が丘メディカルプラザ2小児科

一般演題プログラム

(一般演題) ポスター

※本号 (()) 内のページ数を掲載しております。

(一般演題) ポスター

プログラム／抄録

日時 :	11月 30日 (月) 15:00~15:30 ポスタービュー 12月 1日 (火) 13:40~14:40 ポスターディスカッション
------	--

臨床 : 日和見感染	P-001~P-005	P.75	P.311
副作用	P-006~P-008	P.75	P.313
服薬アドヒアランス	P-009~P-011	P.75	P.315
母子感染	P-012~P-013	P.76	P.316
生活習慣病関連合併症	P-014~P-015	P.76	P.317
抗 HIV 療法	P-016~P-026	P.76	P.318
STI・STD	P-027~P-029	P.77	P.324
歯科	P-030~P-036	P.78	P.325
看護	P-037~P-039	P.78	P.329
症例報告	P-040~P-047	P.79	P.330
その他	P-048~P-052	P.79	P.334
社会 : 薬害	P-053~P-055	P.80	P.337
政策・医療体制	P-056~P-061	P.81	P.338
検査・相談体制	P-062	P.81	P.341
陽性者支援	P-063~P-065	P.81	P.342
行動科学・意識調査	P-066	P.82	P.343
予防・教育	P-067~P-072	P.82	P.344
滞在外国人	P-073	P.83	P.347
在宅療養支援・ケアコーディネーション	P-074	P.83	P.347
国際 : Asia	P-075~P-077	P.83	P.348
Others	P-078~P-081	P.84	P.349

(一般演題) ポスター

■日時：

ポスタービュー

11月30日(月) 15:00~15:30

ポスターディスカッション

12月1日(火) 13:40~14:40

■会場：ポスター会場（東京ドームホテル
B1F オーロラ）

臨床：日和見感染

P-001 皮膚カポジ肉腫を合併し、両肺上葉に空洞を伴う浸潤影を認めた一症例

松浦基夫¹⁾、大田加与²⁾、西田幸司³⁾

1) 堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
2) 堺市立総合医療センター呼吸器内科
3) 堺市立総合医療センター総合内科

P-002 血清 Toxoplasma 抗体が陰性であった Toxoplasma 脳症の一例

比嘉令子、上田敦久、寒川 整、吉見竜介
横浜市立大学附属病院リウマチ血液感染症内科

P-003 非定型抗酸菌症を合併した後天性免疫不全症候群（AIDS）2例の治療経過

池田 博¹⁾、石黒一也¹⁾、青木由佳¹⁾、
村上則子²⁾、宮越郁子²⁾、國本雄介²⁾、
任田宣史³⁾、石田禎夫^{1,3)}

1) 札幌医科大学消化器免疫リウマチ内科
2) 札幌医科大学看護部
3) 札幌医科大学薬剤部

P-004 HIV 患者に生じた Penicillium marneffei の脳膿瘍の一例

伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、
矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、
西田恭治、上平朝子、白阪琢磨
大阪医療センター感染症内科

P-005 ニューモシチス肺炎の一次予防に関する検討

今村淳治¹⁾、小暮あゆみ¹⁾、中畑征史^{1,2)}、
蜂谷敦子¹⁾、岩谷靖雅¹⁾、横幕能行¹⁾

1) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
2) 名古屋医療センター呼吸器内科

臨床：副作用

P-006 腎臓尿細管細胞薬剤輸送蛋白遺伝子の一塩基多型と TDF 関連腎機能障害の関連

西島 健^{1,4)}、林田庸総¹⁾、黒澤匠雅^{2,3)}、
田中紀子²⁾、土屋亮人¹⁾、柳川泰昭^{1,4)}、
小林泰一郎¹⁾、水島大輔^{1,4)}、青木孝弘¹⁾、
木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、塚田訓久¹⁾、
照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,4)}、
潟永博之^{1,4)}

1) 国際医療研究センターEIZ治療・研究開発センター
2) 国立国際医療研究センター臨床研究センター医療情報解析研究部
3) 東京理科大学理学部数学科
4) 熊本大学エイズ学研究センター

P-007 初回 ART 導入における Raltegravir と Dolutegravir の血液毒性への関与

後藤秀樹^{1,4)}、遠藤知之¹⁾、藤本勝也¹⁾、
近藤 健¹⁾、加畠 馨¹⁾、橋本大吾¹⁾、
小野澤真弘¹⁾、杉田純一¹⁾、松川敏大¹⁾、
笠原耕平²⁾、宮下直洋²⁾、橋野 聰³⁾、
佐藤典宏⁴⁾、豊嶋崇徳¹⁾

1) 北海道大学病院血液内科
2) EIZ予防財団リサーチレジデント
3) 北海道大学保健センター
4) 北海道大学病院臨床研究開発センター

P-008 ドルテグラビルの睡眠障害についての後方的調査研究

那波みゆき¹⁾、宇高 歩¹⁾、石坂敏彦¹⁾、
松浦基夫²⁾、西田幸司³⁾、大成功一⁴⁾

1) 堺市立総合医療センター薬剤科
2) 同腎代謝免疫内科
3) 同総合内科
4) 同診療局

臨床：服薬アドヒアランス

P-009 抗 HIV 療法の初回レジメン提案とその後

内田里香、渡部智貴、赤木圭太、
本郷知世、加藤一郎、金田 晓

千葉医療センター

P-010 調剤薬局における服薬アドヒアランス支援の取り組み

前川敏美¹⁾、富永有佳¹⁾、野村玲子¹⁾、
芝先由貴¹⁾、瀬崎麻里子¹⁾、岩崎彩佳¹⁾、
山下 妙¹⁾、早川優紀¹⁾、稻葉 岬¹⁾、
服部亜矢子¹⁾、高谷純子³⁾、桑島俊恵²⁾、
松井優子²⁾

1) などの花薬局都島店
2) (株) 共栄ファーマシー
3) (株) ファーマホールディング

(一般演題) ポスター

- P-011 外来における ART の服薬支援と医療連携 第2報～保険薬局での服薬支援 3年間のまとめ～
角南直美¹⁾、斎藤富美子¹⁾、平泉君江¹⁾、
安藤友香¹⁾、廣瀬祥子¹⁾、河本佳子³⁾、
井川千恵子⁵⁾、紅田慶子⁵⁾、勝木一恵⁶⁾、
柳田月美⁴⁾、土谷良樹²⁾、松永伸一²⁾、
勇 美穂¹⁾
1) 外苑企画商事わかば薬局
2) 東葛病院総合診療科
3) 東葛病院薬剤部
4) 東葛病院医療福祉相談室
5) 東葛病院付属診療所看護部
6) たんぽぽ訪問看護ステーション
- 臨床：母子感染**
- P-012 HIV 母子感染予防対策における抗 HIV 療法の実施状況とその有効性および安全性に関する検討
平野 淳¹⁾、福島直子¹⁾、戸上博昭¹⁾、
加藤万理¹⁾、今村淳治²⁾、蜂谷敦子³⁾、
岩谷靖雅³⁾、松本修一¹⁾、横幕能行²⁾
1) 名古屋医療センター薬剤部
2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染免疫研究部
- P-013 当院ではじめて対応した HIV 陽性妊婦の分娩
服部公紀¹⁾、坂部茂俊²⁾、豊嶋弘一²⁾、
辻 幸太²⁾、森尾志保³⁾
1) 伊勢赤十字病院薬剤部
2) 伊勢赤十字病院感染症内科
3) 伊勢赤十字病院看護部
- 臨床：生活習慣病関連合併症**
- P-014 HIV 感染者における骨代謝マーカーと骨量の相関性について
山崎尚也¹⁾、齊藤誠司¹⁾、藤井輝久¹⁾、
小川良子²⁾、池田有里²⁾、木下一枝²⁾、
喜花伸子³⁾、浅井いづみ³⁾、金崎慶大³⁾、
城下由衣³⁾、藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、
畠井浩子⁴⁾、高田 昇⁵⁾
1) 広島大学病院輸血部
2) 広島大学病院看護部
3) 広島大学病院エイズ医療対策室
4) 広島大学病院薬剤部
5) 広島文化学園大学看護部
- P-015 HIV 感染患者における栄養指導の効果と食生活の傾向について
淵邊まりな¹⁾、辻麻理子²⁾、阪木淳子²⁾、
長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、郭 悠²⁾、
高濱宗一郎²⁾、南 留美²⁾、山本政弘²⁾
1) 九州医療センター栄養管理室
2) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
- 臨床：抗 HIV 療法**
- P-016 名古屋医療センターにおける透析導入時及び腎移植時の抗 HIV 剤の選択と有効性に関する調査
福島直子¹⁾、加藤万理¹⁾、戸上博昭¹⁾、
平野 淳¹⁾、羽柴知恵子²⁾、蜂谷敦子³⁾、
岩谷靖雅³⁾、松本修一¹⁾、横幕能行⁴⁾
1) 名古屋医療センター薬剤部
2) 名古屋医療センター看護部
3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
4) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- P-017 慢性腎臓病の進行とともに血中 etravirine 濃度の低下を認め透析導入時に治療変更を要した HIV 陽性血液透析患者の 1 例
加藤万理¹⁾、戸上博昭¹⁾、福島直子¹⁾、
平野 淳¹⁾、今村淳治³⁾、蜂谷敦子²⁾、
岩谷靖雅²⁾、松本修一¹⁾、横幕能行³⁾
1) 名古屋医療センター薬剤部
2) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
3) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- P-018 当院におけるドルテグラビル使用状況について 第2報
安田明子¹⁾、南川知央¹⁾、下川千賀子¹⁾、
柏原宏暢¹⁾、高山次代²⁾、辻 典子³⁾、
小谷岳春⁴⁾、中谷安宏⁴⁾
1) 石川県立中央病院薬剤部
2) 石川県立中央病院看護部
3) エイズ予防財団
4) 石川県立中央病院診療部
- P-019 当院におけるドルテグラビルの使用について
右川 浩¹⁾、阿部和史¹⁾、高森幹雄²⁾、
阪下健太郎²⁾
1) 東京都立多摩総合医療センター薬剤科
2) 東京都立多摩総合医療センター呼吸器内科

(一般演題) ポスター

- P-020 生活圏において適正な薬物治療を支え続けるために～スキルアップのための薬薬協働の試み＜第二報＞～
圓岡大典¹⁾、海老昌子¹⁾、田橋美佳¹⁾、
宮崎菜穂子¹⁾、吉場雅一朗¹⁾、
井戸田一朗^{1,2)}、中村仁美^{1,3)}、土井信幸^{1,4)}
1) smART応需プロジェクト
2) しらかば診療所
3) 品川イーストクリニック
4) 高崎健康福祉大学
- P-021 名古屋医療センターにおける Dolutegravir と Rilpivirine による NRTI sparing regimen の有用性の検討
戸上博昭¹⁾、福島直子¹⁾、加藤万理¹⁾、
平野 淳¹⁾、今村淳治²⁾、蜂谷敦子³⁾、
岩谷靖雅³⁾、松本修一¹⁾、横幕能行²⁾
1) 名古屋医療センター薬剤部
2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- P-022 抗 HIV 薬の吸収阻害が疑われウイルス量の低下が遷延した一例
原 量平¹⁾、早川史織¹⁾、佐藤麻希¹⁾、
増田純一¹⁾、柳川泰昭²⁾、青木孝弘²⁾、
照屋勝治²⁾、潟永博之²⁾、和泉啓司郎¹⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾
1) 国立国際医療研究センター薬剤部
2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- P-023 当院で経験した NRTI sparing regimen の 2 例
齋藤直美¹⁾、笠原浩康¹⁾、荒川圭子¹⁾、
外山 聰¹⁾、田邊嘉也²⁾
1) 新潟大学医歯学総合病院薬剤部
2) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- P-024 国立国際医療研究センターにおける初回抗 HIV 療法の動向
塙田訓久¹⁾、増田純一²⁾、小林泰一郎¹⁾、
柳川泰昭¹⁾、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、
青木孝弘¹⁾、木内 英¹⁾、渡辺恒二¹⁾、
源河いくみ¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、
照屋勝治¹⁾、潟永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2) 同薬剤部
- P-025 血液製剤による HIV 感染者の調査成績
第 2 報 抗 HIV 薬の組み合わせの変更と CD4 値、HIV-RNA 量の関連性
川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、岡 慎一²⁾、
福武勝幸³⁾、日笠 聰⁴⁾、八橋 弘⁵⁾、
白阪琢磨⁶⁾
1) 藤田保健衛生大学
2) 国立国際医療研究センター
3) 東京医科大学
4) 兵庫医科大学
5) 長崎医療センター
6) 大阪医療センター
- P-026 血液製剤による HIV 感染者の調査成績
第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移
白阪琢磨¹⁾、岡 慎一²⁾、川戸美由紀³⁾、
橋本修二³⁾、日笠 聰⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、
八橋 弘⁶⁾
1) 大阪医療センター
2) 国立国際医療研究センター
3) 藤田保健衛生大学
4) 兵庫医科大学
5) 東京医科大学
6) 長崎医療センター
- 臨床 : STI・STD**
- P-027 ジアルジア症と尖圭コンジローマを合併した HIV 感染症の一例
彼谷裕康、丸山敬子、吉森文子
富山県立中央病院HIVT
- P-028 HIV 感染者の梅毒性ぶどう膜炎の症例
廣田和之¹⁾、山本雄大¹⁾、湯川理己¹⁾、
上地隆史¹⁾、伊熊素子¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、
笠井大介¹⁾、渡邊 大^{1,2)}、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨^{1,2)}
1) 大阪医療センター
2) 大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- P-029 HIV 陽性者における性感染症の感染実態について
小島洋子¹⁾、川畠拓也¹⁾、森 治代¹⁾、
駒野 淳²⁾
1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2) 名古屋医療センター

(一般演題) ポスター

臨床：歯科

P-030 HIV 感染者における口腔疾患関連マーカーの検討

泉福英信¹⁾、有家 巧²⁾、富永 燐¹⁾、吉村和久³⁾

- 1) 国立感染症研究所細菌第一部
- 2) 大阪医療センター口腔外科
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

P-031 HIV 陽性患者への造血幹細胞移植周術期に口腔ケア介入を行った 1 症例

山本裕佳¹⁾、宮田 勝²⁾、宮浦朗子¹⁾、高木純一郎²⁾、小谷岳春³⁾、高山次代⁴⁾、辻 典子⁵⁾、中谷安宏⁶⁾

- 1) 石川県立中央病院歯科技術室
- 2) 石川県立中央病院歯科口腔外科
- 3) 石川県立中央病院血液内科
- 4) 石川県立中央病院看護部
- 5) エイズ予防財団リサーチラジデント
- 6) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-032 下唇潰瘍を契機に AIDS 発症が見つかった一例

菱田純代¹⁾、宇佐美雄司¹⁾、今村淳治²⁾、横幕能行²⁾

- 1) 名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 名古屋医療センター感染症内科

P-033 広島大学病院における入院 HIV 患者の歯科診療支援

岡田美穂¹⁾、松井加奈子¹⁾、岩田倫幸^{2,3)}、新谷智章⁴⁾、小川良子⁵⁾、池田有里⁵⁾、木下一枝⁵⁾、高田 昇⁶⁾、齊藤誠司^{7,8)}、山崎尚也^{7,8)}、藤井輝久^{7,8)}、柴 秀樹^{4,9,10)}

- 1) 広島大学病院診療支援部歯科衛生部門
- 2) 広島大学病院歯周診療科
- 3) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院歯周病態学研究室
- 4) 広島大学病院口腔検査センター
- 5) 広島大学病院看護部
- 6) 広島文化学園大学看護学部看護学科
- 7) 広島大学病院輸血部
- 8) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 9) 広島大学病院歯科保存診療科
- 10) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院歯髄生物学研究室

P-034 HIV 感染者の歯科診療に関する実態調査

松本宏之^{1,2)}、鈴木治仁²⁾、花岡新八²⁾、澤 悅夫²⁾、小林成文²⁾、加賀谷昇²⁾

- 1) 東京医科歯科大学歯学部附属病院総合診療科クリニカルーム歯科外来
- 2) 東京HIVデンタルネットワーク

P-035 HIV/AIDS 患者における歯科治療の現状ならびに患者の意識調査

西原一秀¹⁾、健山正男²⁾、後藤尊広³⁾、仲村秀太²⁾、前田サオリ⁴⁾、宮城京子⁴⁾、藤田次郎²⁾、新崎 章¹⁾

- 1) 琉球大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能再建学講座
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学
- 3) 琉球大学医学部附属病院歯科口腔外科
- 4) 琉球大学医学部附属病院看護部

P-036 抗 HIV 薬服用患者における口腔環境と味覚機能の評価

新谷智章¹⁾、山崎尚也^{2,6)}、岩田倫幸³⁾、齊藤誠司^{2,6)}、北川雅恵¹⁾、小川郁子¹⁾、岡田美穂⁴⁾、松井加奈子⁴⁾、濱本京子⁶⁾、畠井浩子⁵⁾、藤田啓子⁵⁾、小川良子⁷⁾、木下一枝⁷⁾、池田有里⁷⁾、藤井輝久^{2,6)}、柴 秀樹^{1,8)}

- 1) 広島大学病院口腔検査センター
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院歯周診療科
- 4) 広島大学病院歯科衛生部門
- 5) 広島大学病院薬剤部
- 6) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 7) 広島大学病院看護部
- 8) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院歯髄生物学研究室

臨床：看護

P-037 HIV 診療における患者の抱える問題の複雑多様化と外来看護の独自の役割についての考察

井川千恵子、紅田慶子、角南直美、柳田月美、土谷良樹、松永伸一

東葛病院

P-038 国立国際医療研究センター病院における性感染による HIV 陽性者の入院状況

石井祥子¹⁾、宮村麻理²⁾、小宮山優佳²⁾、服部久恵²⁾、池田和子³⁾、照屋勝治³⁾、菊池 嘉³⁾、岡 慎一³⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院感染症看護専門看護師
- 2) 国立国際医療研究センター病院12階東病棟
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

(一般演題) ポスター

- P-039 介護老人保健施設でのエイズ研修の検討
佐保美奈子¹⁾、古山美穂¹⁾、山田加奈子¹⁾、
高 千恵¹⁾、泉 柚岐²⁾、西口初江³⁾、
白阪琢磨⁴⁾、井内公仁子⁵⁾
1) 大阪府立大学大学院看護学研究科
2) 関西社会福祉専門学校
3) 羽衣国際大学人間生活学部
4) 国立大阪医療センター
5) まごころケアマネージャー事務所
- 臨床：症例報告**
- P-040 Pneumocystis pneumonia (PCP) 加療中、インフルエンザ肺炎を併発した AIDS 症例
芦野有悟、齋藤弘樹、賀来満夫
東北大学病院総合感染症科
- P-041 長期間 HIV western blot 法の陽転化を認めず免疫機能不全を呈した HIV 感染症の一例
小川吉彦¹⁾、渡邊 大²⁾、小川 拓¹⁾、
米川真輔¹⁾、宇野健司¹⁾、
中村（内山）ふくみ¹⁾、古西 満¹⁾、
笠原 敬¹⁾、白阪琢磨²⁾、三笠桂一¹⁾
1) 奈良県立医科大学感染症センター
2) 大阪医療センター感染症内科
- P-042 ダルナビル食直前投与患者において血中濃度測定を実施した一例
早川史織¹⁾、佐藤麻希¹⁾、増田純一¹⁾、
瓜生英子²⁾、池田和子³⁾、木内 英³⁾、
和泉啓司郎¹⁾、菊池 嘉³⁾、岡 慎一³⁾
1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
2) 国立国際医療研究センター病院小児科
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- P-043 広範囲の下顎骨壊死を契機に HIV 感染が判明した 1 例
澤田暁宏、日笠 聰、徳川多津子、
小川啓恭
兵庫医科大学血液内科
- P-044 同時期に感染した急性 HIV-HBV 合併感染症の 1 例
大路 剛^{1,2,3)}、西村 翔¹⁾
1) 神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座感染治療学分野
2) 神戸大学医学部附属病院臨床検査部
3) 神戸大学都市安全研究センター
- P-045 免疫異常を背景に肺動脈血栓塞栓性肺高血圧症を合併した HIV 感染症の 1 例
齋藤和義¹⁾、鈴木克典¹⁾、中野和久¹⁾、
宮川一平¹⁾、田中美佐子²⁾、田中良哉¹⁾
1) 産業医科大学医学部第1内科
2) 産業医科大学病院看護部
- P-046 ニューモシスチス肺炎の治療中に壊死性リンパ節炎の再発をみた AIDS の一症例
飯田 康、笠松 悠、森村 歩、
来住知美、白野倫徳、後藤哲志
大阪市立総合医療センター感染症内科
- P-047 AIDS に合併した Ramsay Hunt 症候群の一例
高山陽子^{1,3)}、和田達彦^{2,3)}、児玉華子²⁾、
松枝 佑²⁾、永井立夫²⁾、田中住明²⁾、
廣畠俊成²⁾
1) 北里大学医学部附属新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門感染制御学
2) 北里大学医学部膠原病・感染内科
3) 北里大学病院感染管理室
- 臨床：その他**
- P-048 HIV 感染症診療における薬剤師介入が医療者側へもたらす効果に関する実態調査
國本雄介¹⁾、吉野宗宏²⁾、井上正朝³⁾、
阿部憲介⁴⁾、内山真理子⁵⁾、齋藤直美⁶⁾、
下川千賀子⁷⁾、矢倉裕輝⁸⁾、藤田啓子⁹⁾、
常友盛勝¹⁰⁾、井上千鶴¹¹⁾、大石裕樹¹²⁾、
増田純一¹³⁾、佐藤麻希¹³⁾、和泉啓司郎¹³⁾、
宮本 篤¹⁾
1) 札幌医科大学附属病院薬剤部
2) 姫路医療センター薬剤部
3) 旭川医科大学病院薬剤部
4) 仙台医療センター薬剤部
5) 新潟市民病院薬剤部
6) 新潟大学医歯学総合病院薬剤部
7) 石川県立中央病院薬剤部
8) 大阪医療センター薬剤部
9) 広島大学病院薬剤部
10) 広島市立広島市民病院薬剤部
11) 広島県立広島病院薬剤科
12) 九州医療センター薬剤部
13) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

(一般演題) ポスター

P-049 PWA サポートチームの活動における心理社会的問題への介入の検討

道川綾加^{1,3)}、矢嶋敬史郎^{1,2)}、廣常秀人¹⁾、富島公介¹⁾、岡本 学¹⁾、安尾利彦¹⁾、増田雅子³⁾、渡津千代子³⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

- 1) 大阪医療センターPWAサポートチーム
- 2) 同感染症内科
- 3) 同看護部

P-050 外来通院中の HIV 陽性者禁煙成功症例の検討

関矢早苗¹⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、味澤 篤³⁾、今村顯史²⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部
- 2) 同感染症科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

P-051 第4世代抗原抗体スクリーニング検査測定値の HIV 感染症の診断における有用性

西島 健、坪井基行、小林鉄郎、的野多加志、柴田 怜、上村 悠、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、青木孝弘、木内 英、本田元人、塚田訓久、照屋勝治、渴永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターHIV治療・研究開発センター

P-052 HIV 治療実態調査から得られた診療科別の HIV 治療選択・中止理由

斎藤雅倫、新井伶奈、伊澤応子
イプソスヘルスケアジャパンリミテッド

社会：薬害

P-053 薬害 HIV 感染・非感染別に見た血友病患者における情緒的サポートと HHI との関連

城本友恵¹⁾、伊藤美樹子¹⁾、大達 亮²⁾、阿賀はるか¹⁾、多田世奈¹⁾、大村佳代子³⁾、九津見雅美⁴⁾、平 和也¹¹⁾、片岡 瑞¹⁾、蘭由岐子⁵⁾、南山浩二⁶⁾、井口高志⁷⁾、中塚朋子⁸⁾、山田富秋⁹⁾、花卉十伍¹⁰⁾、森戸克則¹⁰⁾、若生治友¹⁰⁾

- 1) 大阪大学大学院
- 2) 山口大学
- 3) 三重県立看護大学
- 4) 兵庫県立大学
- 5) 追手門学院大学
- 6) 成城大学
- 7) 奈良女子大学
- 8) 就実大学
- 9) 松山大学
- 10) MERS
- 11) 奈良県庁

P-054 薬害 HIV 遺族相談事業「日々についてのおたずね」の活動報告—その2~3年の結果と遺族の変化—

古谷野淳子^{1,2)}、矢永由里子^{2,3)}、西川歩美^{2,4,5)}、鈴木葉子^{2,6)}、紅林洋子^{2,7)}、村上典子^{2,8)}

- 1) 新潟大学医歯学総合病院
- 2) ネットワーク医療と人権
- 3) 慶應大学医学部感染制御センター
- 4) 大阪医療センター
- 5) エイズ予防財団
- 6) 滋賀県健康医療福祉部
- 7) 沼津市立病院
- 8) 神戸赤十字病院

P-055 薬害 HIV 遺族相談事業「日々についてのおたずね」の活動報告—その3 遺族相談によるピア活動の特徴と専門家相談員の関わりについて—

矢永由里子^{1,2)}、古谷野淳子^{2,3)}、西川歩美^{2,4,5)}、鈴木葉子^{2,6)}、紅林洋子^{2,7)}、村上典子^{2,8)}

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) ネットワーク医療と人権専門家相談員
- 3) 新潟大学医歯学総合病院
- 4) 大阪医療センター
- 5) エイズ予防財団
- 6) 滋賀県健康医療福祉部
- 7) 沼津市立病院
- 8) 神戸赤十字病院

(一般演題) ポスター

社会：政策・医療体制

P-056 地域社会における包括的 HIV ケアを目指した通院患者アンケートの試み

中村聰洋¹⁾、小林瑞枝¹⁾、石崎芳美¹⁾、柳澤邦雄²⁾、半田 寛²⁾、兒玉智子³⁾、合田 史⁴⁾、内海英貴⁵⁾、小川孔幸²⁾、野島美久²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院看護部
2) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科
3) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
4) 高崎総合医療センター総合診療科
5) 社団日高会白根クリニック

P-057 ブロック拠点病院における医療従事者向け HIV/AIDS 専門外来研修のあゆみ

高山次代、浅田裕子、辻 典子、山下美津江、青野加奈子、北志保里、古川夢乃、下川千賀子、安田明子、小谷岳春、中谷安宏

石川県立中央病院診療チーム

P-058 HIV 感染症患者地域支援者実地研修の効果

首藤美奈子¹⁾、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、吉用 緑^{1,2)}、辻麻理子¹⁾、山地由恵¹⁾、犬丸真司¹⁾、小田原美樹³⁾、佐藤和夫⁴⁾、森 晴美⁵⁾、山本政弘¹⁾

1) NHO九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
2) エイズ予防財団
3) NHO九州医療センター感染制御部
4) 仁ケアプランサービス
5) 粋屋医師会訪問看護ステーション

P-059 東北海道の中核拠点病院の抗 HIV 薬の使用状況と腎機能

高橋道生¹⁾、小川洋司¹⁾、金森美香³⁾、宮城島拓人²⁾

1) 釧路労災病院薬剤部
2) 釧路労災病院内科
3) 釧路労災病院看護部

P-060 HIV/AIDS 診療拠点病院として HIV 診療チームの発足と活動報告

杉山和美¹⁾、湯原里美¹⁾、柳橋貴子¹⁾、市川智之²⁾、林 潤一³⁾、飯泉敦司⁴⁾、清水誠一⁵⁾、齊藤和人⁵⁾、鴨下昌晴⁵⁾

1) 総合病院土浦協同病院看護部
2) 総合病院土浦協同病院薬剤部
3) 総合病院土浦協同病院福祉相談部
4) 総合病院土浦協同病院事務
5) 総合病院土浦協同病院

P-061 島根大学医学部附属病院における HIV 診療の現状

井上政弥¹⁾、高橋 勉¹⁾、栗屋幸一²⁾、土井教雄³⁾、中山浩美⁴⁾、山本美和子⁵⁾、山田和子⁵⁾

1) 島根大学医学部附属病院腫瘍センター腫瘍・血液内科
2) 島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科
3) 島根大学医学部附属病院薬剤部
4) 島根大学医学部附属病院地域医療連携センター
5) 島根大学医学部附属病院看護部

社会：検査・相談体制

P-062 当センターの総合健診（1 日人間ドック）を受診した HIV 感染者の検討

玉山隆章¹⁾、井上 穂¹⁾、鈴木隆史²⁾、板垣信生¹⁾、福武勝幸²⁾

1) PL東京健康管理センター
2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

社会：陽性者支援

P-063 HIV 陽性男性における Safer Sex Fatigue の広がりと性行動、性に関する相談状況との関連性の検討

阿部桜子¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、細川陸也³⁾、板垣貴志⁴⁾、片倉直子⁵⁾、山内麻江⁶⁾、高久陽介⁷⁾、矢島 嵩^{7,8)}、若林チヒロ⁹⁾、大木幸子¹⁰⁾

1) TIS株式会社
2) 放送大学
3) 名古屋市立大学
4) アクセライト
5) 神戸市看護大学
6) 東京医科歯科大学看護専門学校
7) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
8) ぶれいす東京
9) 埼玉県立大学
10) 杏林大学

P-064 性的マイノリティおよび HIV 陽性者の高齢期を支える NPO パープル・ハンズ
永易至文
パープル・ハンズ

P-065 HIV 陽性者と周囲の人への相談事業における新規 HIV 陽性相談者の背景について
牧原信也、生島 嗣、福原寿弥
ぶれいす東京

(一般演題) ポスター

社会：行動科学・意識調査

P-066 中年期以降の男性 HIV 陽性者における介護場所についての意向～3 つの要介護状態の場面を想定して～

藤田彩子¹⁾、小山美紀²⁾、森下美紀^{1,3)}、網谷レイチェル¹⁾、池田和子²⁾、大金美和²⁾、上別府圭子¹⁾

- 1) 東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野
- 2) 国立国際医療研究センターHIV治療・研究開発センター
- 3) 東邦大学看護学部成人看護学研究室

社会：予防・教育

P-067 HIV 感染症専門薬剤師制度認定を視野に入れた HIV 感染症薬物療法研修会開催についての報告

森下和美¹⁾、野毛一郎¹⁾、吉田康秀³⁾、山本 愛²⁾

- 1) 沼津市立病院薬剤部
- 2) 静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課
- 3) 沼津市立病院呼吸器内科

P-068 薬学部実務実習における HIV 実習普及に向けての検討

井門敬子¹⁾、木村博史¹⁾、吉野宗宏²⁾、岩館文佳³⁾、工藤正樹⁴⁾、阿部憲介⁵⁾、内山真理子⁶⁾、石原正志⁷⁾、日笠真一⁸⁾、治田匡平⁹⁾、木村智子¹⁰⁾、常友盛勝¹¹⁾、井上千鶴¹²⁾、藤井健司¹³⁾、嶺 豊春¹⁴⁾、屋地慶子¹⁵⁾、田中亮裕¹⁾、荒木博陽¹⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 姫路医療センター薬剤科
- 3) 青森県立中央病院薬剤部
- 4) 岩手医科大学附属病院薬剤部
- 5) 仙台医療センター薬剤部
- 6) 新潟市民病院薬剤部
- 7) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 8) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 9) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 10) 和歌山県立医科大学附属病院薬剤部
- 11) 広島市立広島市民病院薬剤部
- 12) 広島県立広島病院薬剤部
- 13) 広島大学病院薬剤部
- 14) 長崎大学病院薬剤部
- 15) 鹿児島大学病院薬剤部

P-069 広がる AIDS 文化フォーラム（その 3）～東日本大震災の被災地、陸前高田市でフォーラムを開催する意義～

岩室紳也^{1,2,6)}、山田雅子³⁾、林しげる⁴⁾、古川潤哉⁵⁾

- 1) ヘルスプロモーション推進センター
- 2) 厚木市立病院泌尿器科
- 3) 早稲田速記医療福祉専門学校看護科
- 4) 立命館大学薬学部
- 5) 浄土真宗本願寺派浄誓寺
- 6) AIDS文化フォーラムin陸前高田運営委員会

P-070 広がる AIDS 文化フォーラム（その 2）～「第 5 回 AIDS 文化フォーラム in 京都」開催を終えて～

林しげる^{1,5)}、山田雅子²⁾、岩室紳也³⁾、古川潤哉⁴⁾

- 1) 立命館大学薬学部
- 2) 早稲田速記医療福祉専門学校看護科
- 3) ヘルスプロモーション推進センター
- 4) 浄土真宗本願寺派浄誓寺
- 5) AIDS文化フォーラムin京都

P-071 広がる AIDS 文化フォーラム（その 1）～22 年の横浜の実績と各地への広がり～

山田雅子^{1,5)}、岩室紳也^{2,5)}、林しげる³⁾、古川潤哉⁴⁾

- 1) 早稲田速記医療福祉専門学校看護科
- 2) ヘルスプロモーション推進センター
- 3) 立命館大学薬学部
- 4) 浄土真宗本願寺派浄誓寺
- 5) AIDS文化フォーラムin横浜運営委員会

P-072 広がる AIDS 文化フォーラム（その 4）～佐賀での初開催 地方都市ならではの課題と意義～

古川潤哉^{1,5,6)}、山田雅子²⁾、林しげる³⁾、岩室紳也⁴⁾

- 1) 浄土真宗本願寺派浄誓寺
- 2) 早稲田速記医療福祉専門学校看護科
- 3) 立命館大学薬学部
- 4) ヘルスプロモーション推進センター
- 5) 思春期ネットワーク・佐賀
- 6) AIDS文化フォーラムin佐賀運営委員会

(一般演題) ポスター

社会：滞在外国人

P-073 HIV 陽性外国人の出身地の多様化と医療アクセス

沢田貴志¹⁾、山本裕子²⁾、塙田訓久³⁾、今村顕史⁴⁾、白阪琢磨⁵⁾、横幕能行⁶⁾、矢野邦夫⁷⁾、中村仁美⁸⁾、上田敦久⁹⁾、保科齊生¹⁰⁾、猪狩英俊¹¹⁾、岩室紳也¹²⁾、仲尾唯治¹³⁾

- 1) 港町診療所
- 2) シエア=国際保健協力市民の会
- 3) 国立国際医療研究センターイズ治療・研究開発センター
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 5) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター
- 6) 名古屋医療センターイズ治療開発センター
- 7) 浜松医療センター感染症科
- 8) 東京大学医学研究所感染症国際研究センター
- 9) 横浜市立大学付属病院リウマチ・血液・感染内科
- 10) 東京慈恵会医科大学付属病院感染症制御部
- 11) 千葉大学医学部付属病院感染症管理治療部
- 12) 厚木市立病院泌尿器科
- 13) 山梨学院大学経営情報学部

国際：Asia

P-075 "We are living under the same sky" in Mongolia : Adopting Japan original project for HIV prevention "Living Together"

Michiko Takakku¹⁾、Seiichi Ichikawa¹⁾、Satoshi Shiono²⁾、Noriyo Kaneko²⁾、Shinichi Oka³⁾、Myagmardorj Dorjgotov⁴⁾、Erdenetuya Gombo⁵⁾、Nyampurev Galsanjamts⁶⁾、Davaalkham Jagdagsuren⁷⁾

- 1) University of Human Environments, Japan
- 2) Nagoya City University, Japan
- 3) AIDS Clinical Center National Center for Global Health and Medicine, Japan
- 4) Youth for health center, Mongolia
- 5) Together Center, Mongolia
- 6) Human Rights Youth Support Center, Mongolia
- 7) National Center for Communicable Disease, Mongolia

社会：在宅療養支援・ケアコーディネーション

P-074 愛媛県における訪問看護師に対する実地研修の現状

若松 綾¹⁾、坂本早輝¹⁾、滝本麻衣¹⁾、中村真理子¹⁾、岩村弘子¹⁾、藤原光子¹⁾、小野恵子²⁾、中尾 綾³⁾、末盛浩一郎³⁾、村上雄一³⁾、木村博史⁴⁾、井門敬子⁴⁾、高田清式⁵⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院看護部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター
- 3) 愛媛大学医学部附属病院第一内科
- 4) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター

P-076 Preference of the patients receiving antiretroviral therapy about their follow-up visit

Tsutomu Kitajima¹⁾、Wattananamkul Viboon²⁾、Muangyim Kamolnat³⁾、Leeratanapetch Niramon⁴⁾、Muadthong Sukunta⁵⁾、Khotphuwiang Thawarat⁴⁾、Yasuki Kobayashi⁶⁾

- 1) Faculty of Social Sciences, Kyorin University
- 2) Faculty of Pharmaceutical Sciences, Khon Kaen University
- 3) Sirindhorn College of Public Health, Chonburi
- 4) Khon Kaen Hospital
- 5) Sirindhorn College of Public Health, Khon Kaen
- 6) Graduate School of Medicine, University of Tokyo

P-077 HIV Risk Behaviors among MSM and Mak Nyah (Transwomen) in Kuala Lumpur, Malaysia

T. Nemoto¹⁾、Y.K. Teh²⁾、M. Iwamoto¹⁾、S. Suzuki¹⁾、S. Choong²⁾

- 1) Public Health Institute, USA
- 2) National Defence University of Malaysia

(一般演題) ポスター

国際 : Others

P-078 Small Molecule Inhibition of Human Immunodeficiency Virus Type-I(HIV-I) Viral Replication by Targeting Gag-Tsg101 Interaction

Lowela Siarot^{1,2)}、Hirotaka Sato¹⁾、Nopporn Chutiwittoonchai¹⁾、Eiichi Kodama³⁾、Kazumichi Kuroda⁴⁾、Masami Takei⁴⁾、Tatsuo Yamamoto⁴⁾、Toshihiro Aono²⁾、Yoko Aida¹⁾

1) Viral Infections Diseases Unit, RIKEN
2) Biotechnology Research Center, the University of Tokyo
3) Miyagi Area Medical Support Endowed Chair, Graduate School of Medicine, Tohoku University
4) Nihon University

P-079 Tracing of anti-HIV-1 neutralization titer in patient's sera using neutralization sensitive maraviroc resistant viruses

Samatchaya Boonchawalit^{1,2)}、Shigeyoshi Harada¹⁾、Hiroyuki Gatanaga³⁾、Shinichi Oka³⁾、Shuzo Matsushita²⁾、Kazahisa Yoshimura^{1,2,3)}

1) AIDS Research XII, Center for AIDS Research, Kumamoto University
2) AIDS Research Center, Division 1, National Institute of Infectious Diseases
3) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine

P-080 CURRENT SITUATION OF SPECIALIZED HEALTH CARE SERVICES FOR PEOPLE LIVING WITH HIV/AIDS IN MONGOLIA

Tumendemberel P^{1,2)}、Tsegmed S²⁾、Unenchimeg P²⁾、Davaalkham J²⁾、Odongua N³⁾

1) School of Public Health, MNUMS
2) AIDS/STI Surveillance and Research Department, NCCD
3) School of Nursing, MNUMS

P-081 Drug Resistance After Second Line Failure Can Be Managed Using WHO-Recommended Regimens in Nigeria

Nicaise Ndemb¹⁾、Rawlings W. Datin¹⁾、David A. M. C. van de Vijver²⁾、Alash'le G. Abimiku³⁾、Obinna Ogbanufe⁴⁾、William A. Blattner³⁾、Patrick Dakum¹⁾

1) Institute of Human Virology Nigeria, Abuja, Nigeria
2) Virology, Erasmus Medical Center, Erasmus University, Rotterdam, Netherlands
3) Epidemiology and Prevention, Institute of Human Virology, Baltimore, MD, United States
4) US Centers for Disease Control and Prevention, Abuja, Nigeria